優秀な人のやり方や
ルールに乗っかってしまえば、
最小限の労力で、スピーディーかつ
自分の才能以上の成果に
たどり着けます。

知らなきゃ損する お金の流儀

坂本よしたか

富裕層へのカギは他力思考だった!!

将来のお金の不安がなくなる!

人生100年時代を豊かに生き抜く方法

信長出版

知らなきゃ損する お金の流儀
坂本よしたか
信長出版

ISBN 978-4-86113-762-4
C0030 ¥1500E

定価：本体1,500円（税別）
PHP研究所

第1章 知らなきゃヤバイ! 人生100年時代を生き抜くための大事なお金の話
第2章 お金持ちの秘訣は自力ではなく他力思考にあった
第3章 他力投資こそが富裕層へのカギ
第4章 これから来る! 投資術とは?

坂本よしたか
Sakamoto Yoshitaka

株式会社ライトニングプロデュース代表取締役、株式会社ライトニングプレミアム代表取締役。1973年8月10日生まれ。ビジネスコミュニティ運営、コンサルタント事業、投資事業、セミナー事業、物販事業など、多岐に渡る事業を展開。年商は30億円を超える。起業歴15年。経営者、投資家としての顔以外に「セミナー講師」「プロデューサー」「作家」など複数の顔を持つ。これまでのビジネス経験をつづった6冊の書籍は累計発行部数15万部を超えるベストセラー作品になっている。著書としては、『Amazonで億万長者』（アイバス出版）、『錬金術で億万長者』（アイバス出版）などがある。運営しているビジネスコミュニティでは、これからの時代を会社や国に依存せずに生き抜く為に必要な「個人が稼ぐ力」を身に付ける術を教え、これまで総額100億円以上利益を生み出した実績がある。

知らなきゃ損する お金の流儀

はじめに

今年7月、あるニュースを見て私は、「やっぱりな」と言葉を漏らしました。

それは、戦後最長といわれていたアベノミクスによる景気回復が、政府の公式見解より1年4カ月前、２０１８年10月に終わっていたという内容です。

新型コロナウイルスで景気が悪くなる今年2月まで、「日本の景気はまだまだ回復！」と言い続けていたわけですから、なんとも罪が重いというか、悪気がないならないで、そのウッカリさに呆れますが……（苦笑）。私と同じように思ったり、「ホント?」「だまされた！」と感じた人もいますよね?

ではなぜ、「やはり」と思ったのでしょうか。

だって、そうでしょう。

003-020_はじめに_お金の流儀CS6.indd 3 20/10/29 10:11

世間を見渡しても景気のいい話なんてあまりなく、むしろ「生活がキツイ」「好景気ってホント?」という声が圧倒的。私の周りだと、事業や投資でバカ勝ちしている知り合いがいることはいますが、いわゆるフツーのサラリーマンだと、お昼は牛丼で晩メシは中華のチェーン店でちょい飲みしながらラーメンでシメるなんて、贅沢と無縁の生活を送っている人も珍しくありませんでした。

街の様子も二極化した感じがします。

東京だと銀座や六本木といった繁華街は華やかで、ウォーターフロントにはタワマンがバンバン建っていき、オシャレなショッピングモールがオープンする。そんな光景を見ると一瞬は「ニッポン復活来た?」なんて思うのですが、そうじゃないエリアはどうかというと……さびれた下町はさびれたままで、むしろシャッター商店街が増えていたりして。

東京はまだよくって、セミナーや講演で地方に行くと、「県内随一の繁華街!」といった触れ込みのスポットでも人出は少なく、買い物や食事をする人もまばらだなんてことも……。

買い物をしていても、景気の良さを疑う場面があったことを覚えています。

みなさんも、覚えていませんか。アベノミクスが始まったとき、安倍首相をはじめとする国会議員たち、日銀の黒田総裁は「デフレ脱却」を掲げて金融緩和など「3本の矢」を実行し、景気を刺激していたはずです。

ですが、商店街に行くと相変わらず100円ショップが大人気で、ホームセンターやドラッグストアも格安の商品がズラリ。飲食チェーンを中心に材料価格や人件費アップを理由に値上げをしていましたが、ニュースで庶民の生活が良くなったとは、あまり耳にしませんでした。

むしろアベノミクス前のデフレ時代と変わらなさ過ぎて、「景気が良くなり労働者の収入は増え、物価は上がるんじゃなかったっけ?」と感じたことは、1度

003-020_はじめに_お金の流儀CS6.indd 4-5 20/10/29 10:11

じゃありません。

給料は上がらないのに増税という理不尽

なぜ、景気はとっくに尻すぼみをしていたのか。

東京など主要都市や観光地はインバウンドで沸き盛り上がっていましたが、世界的には米中の貿易対立で日本経済も煽りを受けたり、国内では地震や豪雨など自然災害が相次ぎ地域経済に打撃を与えるなど、理由はいろいろです。

私が決め手になったと思っているのは、アベノミクスの間に2度もあった消費税の引き上げです。5%でもきつかったのに8%に、気づけば10%というありさまで、私も高い買い物をするときは、「これだけが消費税で飛ぶんだ……」と思いますし、これってみなさんも同じですよね。

そういえば、ここ数年で飲食チェーンやコンビニ、ニュースサイトの公式アプリが増えましたが、クーポン目当てでインストールをしている人が多いようです。お得に買い物するのは結構ですが、レジでクーポンを見せている人を見ると、世の中はすっかり節約志向なんだなと実感します。

それでもまだ、収入が増えていたら消費税アップもガマンできたかもしれません。

ところが逆で、アベノミクスの間に日本人サラリーマンの給与は減っています。これに消費税アップですから、とどめを刺されたようなものです。支出を抑えても不思議じゃないというか、それがごくごく自然な感覚なんでしょう。

私のセミナーにやってくる20代~30代前半のサラリーマンだと、景気のいい日本なんて知らず給与も安く抑えられているので、「バブルなんてドラマの中の話ですよ」と言うくらいです。

003-020_はじめに_お金の流儀CS6.indd 6-7 20/10/29 10:11

私自身も就職氷河期世代なのでバブルの恩恵なんてありませんが、それでも好景気に浮かれていた雰囲気は覚えていて、その残り香のようなものを感じたことはありました。おかげさまで事業と投資も成功したので、「マイバブル」は経験しています。

ですが、いまの日本だと大手企業で働くならまだしも、普通のサラリーマンとして生きていくと、収入的には夢がないんだなと思います。アベノミクスで株価が上昇して儲かり、富裕層の仲間入りをした人もいますが、株なんてしないで給与だけが収入源の人は、つつましく暮らさざるを得ないわけです。

ハッキリわかっているのは、**いまとこれからのお金が不安だから、なるべく使わないでいようとする人が増えた**ことです。

コロナで急転直下！　日本経済に冬の時代がやってくる？

ショッキングなニュースは、まだありました。

それは新型コロナ関連で、２０２０年４～６月期の実質ＧＤＰ（国内総生産）が、前期比年率で27・８％も落ち込んだというもの。これはリーマンショックを追い抜き戦後最悪の落ち込みで、景気後退の決定打になると思います。

それもそのはず、４～５月の緊急事態宣言下では、飲食店や百貨店など、あらゆる店舗が営業をとりやめ、街から人の姿は消え去りました。

私も家にいる機会が増え、食事はデリバリーを使う機会が増えました。たまに車で銀座などを走っても、これだけ人が減ることがあるのかって、まるで映画のワンシーンを観ている気分になったのを覚えています。それほど、都心部が静まり返るのは、異様なことなのです。

倒産した会社も多かったようで、わずか数カ月状況が変わるだけで、こんなに社会は冷え込むんだと怖い気持ちになりました。

003-020_はじめに_お金の流儀CS6.indd 8-9　20/10/29 10:11

ただし、日本が不景気に突入したのは、なにもコロナだけが原因ではありません。

じつのところ四半期のＧＤＰがマイナスになったのは今回からではなく、19年の10～12月期から。なんと、３期連続で前年同期比を割り続けているのです。

そう、昨年の消費税率10％への引き上げをきっかけに、日本の景気はとっくに後退モードに入っていました。

いずれにしても、百年に一度か千年に一度か知りませんが、こういったアンラッキーに遭遇する可能性は誰にでもあるわけで、**普段からいろんな方法で手を打っておかないと、あっという間に沈んでいく**と身に沁みています。

そんな思いが、今回本を書くきっかけになりました。

受講者は右肩上がり。いまやこれからの「お金」に悩む人が増えている

ここで少し、自己紹介をさせてください。私は愛知県春日井市生まれで、ごく

ごく平凡な家庭で育ちました。

将来は普通にサラリーマンになって普通に結婚して、普通に暮らしていくと思っていましたし、いま思い返しても平凡な子どもでした。

まさか将来、起業したり人前で講演したり、こうして本を書くようになるなんて思ってもいませんでした。

転機があったのは、サラリーマン時代のことです。

私は19歳でパチンコホールを運営する大手企業に入社しました。当事は上昇志向が強く、「1年で役職になろう！」と燃えていて、1年後には店舗を任されるようになり、年収は１０００万円近くまで上がりました。さらに、本社の営業企画に抜擢され、店舗の出店や企画を任されるようになりました。とにかく多忙な日々です。

ところが、何事もうまくいき天狗になっていた私は、営業会議での失言をきっ

003-020_はじめに_お金の流儀CS6.indd 10-11 20/10/29 10:11

かけにリストラされることに。いま思えば、若気の至りでしょうか（苦笑）。次は、個人店で勝負したいと思い、小さなパチンコホールに就職し、この店舗も雑誌から取材を受けたり、遠方からお客さんがやってくる人気店にすることができました。

こうした成功体験をきっかけに、私はパチンコ店の経営コンサルタントとして起業し、続々とクライアントを獲得します。ですが、東日本大震災が起きて業界は大打撃を受け、取引先は一気に消え去りました。

そこで、「実店舗相手のビジネスだけだと危ない」と思った私はネットに注目し、モノを仕入れてアマゾンなどで売る、物販のビジネスを1人で始めたのです。すると、半年後には月商２４００万円を売り上げることに！

こうした経験があり、私の価値観は一気に変わりました。その後は、物販で培ったノウハウなどを扱う情報配信、アフィリエイトのビジネスにも事業を拡げ、仮想通貨をはじめとする投資も始めました。いまは、グループ会社６社を経営しています。

みずからの経験やビジネスを通じて得た人脈を駆使して集めた情報の質は高く、メルマガやＳＮＳでも好評です。全国で講演会やセミナーも開催していて、５００人規模のイベントを成功させたこともあります。

そこで気になったのは、最初のころは「稼ぎたい」「一攫千金で金持ちになりたい！」など、どちらかというとギラギラした20代、30代の方たちの参加が多かったのが、ここ数年で20代から70代の方まで、幅広い年代の受講者が目立つようになったことです。

それも、サラリーマンや勤め上げて定年退職した方など、いわゆる普通の方たち。これまでなら、こうしたセミナーには目もくれなかった層です。

003-020_はじめに_お金の流儀CS6.indd 12-13 20/10/29 10:11

会社に使われるのではなく自分で稼いで成り上がりたいという人、すでにお金に困っていて藁にも縋る思いでやってきた人、将来に危機感を察知した敏感な人などさまざまですが、**動かざるを得ない人たちが増えてきた**と実感しました。

実際に受講者に参加の理由も聞いてみましたが、次のような答えが多くを占めています。

「僕らの世代って、昔みたいに会社に居続ければ給料が上がるわけじゃない。他にも稼ぐ手を見つけておきたい」（20代男性）

「これからマンション購入や子どもの学費とか、お金のかかるイベントばかり。副収入が欲しい」（30代男性）

「この歳になって、いま以上の出世は見込めないとわかりました（苦笑）。景気も良くないし、この先どうなるかわからないので、坂本さんのセミナーで勉強したいと思いました」（40代男性）

「私たちの世代って、年金が減るって聞きました。定年後にお金で苦労したくないので、いまから何かしておきたい」（50代女性）

「前まで部長だったのが役職定年になり給料が減り、定年後に再雇用で残っても、また少なくなっちゃう。さすがに不安だから、このセミナーに来たんだよ」（60代男性）

あくまで一部の声ですが、ふだんの生活や収入に不安がなければ、こんなことは思わないはず。将来のお金について悩む人はたくさんいて、メルマガの読者、ＳＮＳのフォロワーも増えるばかりです。

003-020_はじめに_お金の流儀CS6.indd 14-15 20/10/29 10:11

「どんな投資が儲かりますか?」といった質問は、毎日のように送られてきます。そんな受講者層の変化も、この本を書くきっかけです。

テーマは「他力思考の投資術」。これが賢く稼ぐ神髄!

本書は大きく4つの章にわけて、みなさんに稼ぐノウハウを養ってもらいます。とはいえ、単に「これがお勧め」とカタログのように紹介するのではなく、納得して取り組めるような内容にしました。

具体的には、冒頭で「なぜ、このままじゃダメなのか?」という問題提起、第2章からは本書の核心である**「他力思考」**に触れ、次いで他力思考で稼ぐメソッドに落とし込んでいます

世の中には不安を煽って投資やビジネスを勧める本はたくさんあります。本書が他と異なるのは、先ほど挙げているワード、「他力思考」をテーマにしたことです。

「他力思考って何?」と思う人もいるでしょう。これは言葉の通り、「他人の助力」のことです。よく「他力本願」と言いますが、まさにこれ。他力思考とは、**「他の人の力を借りて成功しよう」**という考え方です。

「それって虫が良すぎない?」と思ったあなたは、いまだ過去の常識にとらわれています。

決してそんなことはなく、私たちは気づかないところで他力にあやかり、日々をうまく過ごしているのです。

自分1人の能力は限られていて、どれだけ頑張ろうとも壁にぶつかります。

まさに私がそうでした。

003-020_はじめに_お金の流儀CS6.indd 16-17 20/10/29 10:11

サラリーマン時代はどれだけ仕事に打ち込んでも稼げず、順風満帆に見えた物販ビジネスも最初は1人で始めていて、規模が大きくなるにつれ商品の仕入れや出品などに手が回らなくなり、次第に追い詰められていきました。

そこで、人を雇って負担を減らし、さらにマンパワーでビジネスを大きくするのですが、痛感したのは、「人に頼ったり任せたりするのが成長の秘訣」だということです。

これが他力思考のきっかけになりました。

「自分はできない」「人の知恵を借りよう」と思うことで気持ちは楽になり、いろんなことにチャレンジできるようになったのも、**「何でも自分で抱える」という自力思考から抜け出せた**からです。

投資も同じです。

自分自身の知識やノウハウ、カンで勝ち続けられる人は、ほんのひと握り。「投資は9割負ける」というのは当たっていて、それは自力で臨むからです。

それよりは、**自分では手間をかけず優秀な人のノウハウを真似たり、勝てそうなプロジェクトに乗っかれば良い**のです。

恥ずかしいことではなく、世の中の富裕層や資産家はすべてやっていることです。

「餅は餅屋」という言葉がある通り、日本では昔から「できないことは無理をしないでプロに任せろ」という文化があります。

投資もそれに倣(なら)いましょうというのが、この本で私が伝えたいことです。

優秀な人のやり方やルールに乗っかってしまえば、最小限の労力で、スピーディーかつ自分の才能以上の成果にたどり着けます。

003-020_はじめに_お金の流儀CS6.indd 18-19 20/10/29 10:11

お金に対する危機管理意識をさらに高めないと、いつどうなるかわからない世の中で、安心して暮らすことはできません。
本書を、その手立てにしてください。

少し変わった稼ぎの指南書だからこそ、みなさんの心に刺さるはずです。
ぜひ、お付き合いください。

坂本よしたか

003-020_はじめに_お金の流儀CS6.indd 20 20/10/29 10:11

はじめに……3

第1章 知らなきゃヤバイ！
人生100年時代を生き抜くための大事なお金の話

すでに始まっている私たちのお金クライシス……28
年金2000万円問題で日本の危機が表面化した！……33
長生きすればするほど「人生のコスト」は増えていく！……37
人生100年時代がピンチになる5つのワケ……40
副業解禁の本当の意味とは？……53
長生きだけどお金は足りないジレンマ社会がやってくる？……58
給与以外に「稼ぐ力」を身に付けるのが急務……60

021-026_目次_お金の流儀CS6.indd 21 20/10/29 10:11

第2章 お金持ちの秘訣は自力ではなく他力思考にあった！

「他力」ならコロナで身動きが取れなくても関係ない……66
難局を乗りきれた共通点は他力思考だった！……69
他力思考だからゆとりのある生活が手に入った……72
「他力」をうまく活用できる人間が豊かになる……75
自営業になったことが他力思考のきっかけ……79
自身を成長させ成功に導く他力思考5つのメリット……83
気張りすぎないのが他力思考への近道……93
他力を生かせるのはビジネスばかりではない！……96

コラム 超富裕層のお金の思考法 パート1……101

第3章 他力投資こそが富裕層へのカギ

富裕層は他力思考の投資で儲かっている！……108
投資とは「他力」で稼ぐ仕組みのこと……114
FXは国の成長、不動産はエリアの人気に乗っかる投資……118
他力投資のメリットをおさらい……125
他力投資を成功させるには？……133
資産が増える仕組みを整えよう……144

コラム 超富裕層のお金の思考法 パート2……150

第4章 これから来る！ 他力投資術とは？

資金規模に応じてポートフォリオを広げる……158
初心者が知っておきたいジャンルとは？……163
個人向け国債はあまりうま味がない……169
投資信託は資産運用の初心者にピッタリ……173
税制優遇の積立制度で有利な他力投資を！……176
売買益だけではなくスワップポイントも魅力……178
自己資金を使わずにできる他力投資の優秀選手……183
都心のワンルームマンション投資がお勧め……186
国の成長にも期待できる海外不動産投資も魅力！……188
不動産投資にはユニークな商品がたくさん……191
「有事の金（きん）」は他力投資に向いている？……194
売却益だけじゃない。仮想通貨の魅力とは？……196
「マイニング」で稼ぐのもあり！……199
複数の取引所を使ったアービトラージで稼ぐ……203
ダイナミックな成長に乗るなら事業投資で決まり！……205
クラウドファンディングで世界中のビジネスに投資……207
出資額を超える責任は問われない「ＬＬＰ」……210
実績がなかった人ほど他力投資で稼げるようになる！……213
おわりに……216

021-026_目次_お金の流儀CS6.indd 24-25 20/10/29 10:11

● 注意

（1）本書は著者が独自に調査した結果をもとに出版したものです。

（2）本書の全部または一部について、出版元から許可を得ずに複製することは禁じられています。

（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れや落丁・乱丁などお気付きの点がありましたら、出版元までご連絡ください。

（4）本書の内容をもとに行動して起こったあらゆる事象について、上記（3）項にかかわらず責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

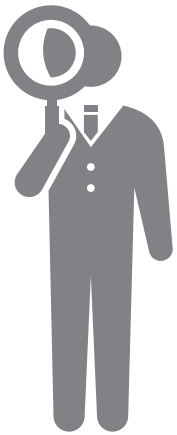
（5）本書に掲載されているのは、2020 年 10 月 23 日現在の情報です。実際に投資などをする際は、最新の情報を確認してください。

（6）商標本書に記載されている会社名、商品名などは一般に各社の商標または登録商標です。

021-026_目次_お金の流儀CS6.indd 26 20/10/29 10:11

第1章

知らなきゃヤバイ！人生100年時代を生き抜くための大事なお金の話



027-064_01章_お金の流儀CS6.indd 27 20/10/29 10:10

すでに始まっている私たちのお金クライシス



世界は新型コロナウイルスの影響でガラッと変わっています。もちろん、悪い方向に、です。

２０２０年11月現在、日本でも多くのコロナ倒産、一部の企業では派遣切りが起きていて、実害が出た人もいるでしょう。

ですが、まだ表面化していないだけ。本当の危機はここからが本番です。

コロナが起きてから、不況に陥った企業を救うという名目で、政府や日銀はかつてないほどの金融緩和で、ジャブジャブとお金をばらまき始めました。雇用調整助成金、持続化給付金など、救済目的の助成金制度も手厚く、これらで急場をしのいだ企業はたくさん。国によるコロナ対策支援の事業規模は５月の段階で２３０兆円超になるとされ、各自治体も合わせると、相当な金額が動きました。

こうした支援もあり、中小零細だけではなく、大手企業もいまは息を永らえています。

ですが、これっていつまで持つでしょうか。

国は大胆な支援策を実施したものの、少子高齢化などの影響で社会保障費が増え、台所事情は厳しいはず。無い袖は振れなくなります。

本当の問題が起きるのはこれから。

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd 28-29 20/10/29 10:10

いまは、**「終わりの始まり」**かもしれません。

景気がすばやく戻れば、カバーできるでしょう。ですが、先ほど述べた通り、日本のＧＤＰは28％も落ち込みました。これって、一気に４分の１が消えたことになり、影響は必至。これまでもバブル崩壊、ＩＴバブル崩壊、リーマンショックなど、いくつも経済危機はありましたが、今回はこれらを上回る規模。もっとも大きな不況になると私個人は思っています。

コロナ前の状態に戻るのに、10年はかかるでしょう。

国をまたいだ人の移動はいまだ制限され、そうなると需要は喚起されず、雇用もなくなっていくばかり。世界的に負の連鎖は拡大していくでしょう。

国内でも、いまはなんとか息をしている中小零細企業は、給付金や融資が底を尽きたら、とたんに倒産ラッシュ。大手企業もモノやサービスが売れなくなると、給与を下げざるをえません。

採用も絞り雇用は先細り、失業率は悪化、景気は坂道を転げ落ちるように悪くなっていきます。

これって、過去の例を見てもわかる、私たちを取り巻く確実な未来の姿です。

普通に働いていても、ちゃんと稼げない時代がやってこようとしています。

とはいえ、これだけ力説しても「ホントにお金に困る日なんてやってくるの？」と疑い深い人もいるのでは？

そこで、第１章ではみなさんのマインドセットを変えるため、「このままじゃヤバイ日本の現状と未来」を解説します。

何も、この国のピンチはコロナのせいばかりじゃありません。もっと根が深い、

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd　30-31　20/10/29　10:10

どうしようもない危機が迫っているのです。

それでも「何もしなくていい」「坂本の言うことはウソ、アテにならない」と思うなら、この本はそっと閉じてもらって構いません。

年金2000万円問題で日本の危機が表面化した！



象徴的なエピソードとして思い出してほしいのは、「年金2000万円問題」です。

これは、昨年6月に金融庁が発表した、老後の暮らしに関するレポートが発端の騒動でした。

簡単にまとめると、夫が定年退職した一般的な夫婦が公的年金などで暮らすと毎月5万5000円も赤字が続き、30年だと2000万円の生活費が足りなくなるという内容です。

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd　32-33　20/10/29　10:10

これを受け、当時の麻生太郎財務大臣は、「家計が赤字になるので若いうちからの資産形成で備えるように」と言ったり、その後「年金だけで老後は暮らせない」「国に騙された！」と騒ぐメディアに対して、「赤字という言い方はまずかった」と火消しをしたり、レポートを正式な報告書として受け取れないと、政府の公式見解にしないとするなど、グダグダの展開になったのを、みなさんも覚えていると思います。

私はこの騒動を見ていてすぐさま思ったのは、

「定年後に年金だけで暮らすのはリスキー」

「投資であろうが何であろうが、現役時代から給与以外に稼ぐ手段は持っておくべき」

という、当たり前と言えば当たり前のことです。

答えは簡単で、ずっと稼げる方法があれば、給与や年金の額に一喜一憂しないで済むからです。

ようは、現役だろうと老後であろうと安心して暮らしたいなら、**プラスアルファの収入源**を持っておきましょう、ということです。

そもそも私は、例えば65歳から年金生活を始めてマックス30年間生きるとしたら、年金以外に２０００万円で足りるなんて思っていません。

ここでモデルになっている高齢夫婦の1カ月の消費支出は約23万５０００円という計算。そこには食費や水道光熱費などが含まれていますが、保険医療費は１万５５００円、教養娯楽費は２万４９００円、交際費は２万７３００円という内訳でした。

いやいや、元気なシニア夫婦の家計が、これで足りますか？

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd　34-35　20/10/29　10:10

仕事はなくて元気なら出かける機会は増えるでしょうし、調子が悪くなると医療や介護の費用もかかります。少なくとも、マイホームを持つ人が普通の生活をするには月30万円は必要と思っていて、この金額を年金２０００万円問題に当てはめると、年金以外に月10万円、30年間で３６００万円も不足します。

しかもこれは最低限の金額で、もっとゆとりのある暮らしがしたいなら、足りないお金は増えるばかりです。

長生きすればするほど「人生のコスト」は増えていく！



年金２０００万円のモデルは夫65歳、妻60歳という世帯。定年退職後に20年から30年生きるという設定です。

日本人の平均寿命は男性81歳、女性87歳なので、30年はともかく、65歳でリタイアしてからも、赤ん坊が成人するのと同じ時間を生き続ける可能性は高いと言えます。

それなら、クルマが長距離を走り続けるのにより多くのガソリンがいるように、長い人生にはお金が必要です。

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd　36-37　20/10/29　10:10

そして今後、**お金の心配はますます高まりそう**です。

みなさんも、「人生100年時代」という言葉を聞いたことがあるはず。これは、4年前に発売されベストセラーになった『LIFE SHIFT（ライフ・シフト）』（東洋経済新報社）に書かれていたフレーズです。著者いわく、生活環境が良くなり医療も発展したおかげで、2007年生まれの2人に1人は103歳まで生きるようになると。

「20年学び、40年働き、20年休む」という、それまでのライフサイクルが変わるので、人の生き方や価値観も大きく変わると指摘する内容は衝撃的で、世界中で「人生100年時代」ブームが沸き起こりました。

日本は長寿化まっしぐらで当事者意識も高いのか、これを機に政府は、「人生100年時代構想会議」を発足させたほどです。

人の寿命が延びているというのは、みなさんも実感していると思います。

一昔前なんて、30代なんてすっかり中年で、60代ならご隠居というのが世間的なイメージでした。

ザ・昭和なアニメの『サザエさん』なんて、サザエさんは24歳、父の波平は54歳、フネさんも50歳という設定です。いまの我々からすると「老けすぎでは？」という感じですが、当時の50代なら波平のようなルックスで不思議はありません。

ところがいまは、歳を重ねても見た目は若々しく、エネルギッシュな人もたくさん。60代なら、まだまだ現役です。

私の周りもそうで、ビジネスやプライベートで知り合った年上の方はみなさん元気。仕事に遊びに全力を尽くす姿に、こっちが舌を巻くくらいです（笑）。

ただし、**人生100年時代に近づけば近づくほど、人生のコストは増えていく**、これは間違いありません。

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd　38-39　20/10/29　10:10

人生100年時代がピンチになる5つのワケ



人が健康で長生きできる社会になっていくのは、すばらしいことです。

やれること、できることは増えていき、選択肢や多様性は広がるというもの。それこそ、学校を出たら定年まで働くというのが日本のスタンダードですが、いったん社会に出たものの新たにやりたいことが見つかったので学びなおす、会社勤めだけだと面白くないので早期退職して起業しようなど、自分なりのキャリアを思い描きやすくなり、チャレンジする機会も増えます。

ただし、安心して長生きするには人生の通行手形である、お金が何よりも必要です。

この問題を解決しない限り人生100年時代を楽しむことはできません。

私はいまのままの社会システムだと、人生100年時代を生き抜くのは難しいと考えています。

ここから、5つの理由を挙げていきましょう。

その① 少子高齢化がヤバい！

私は第2次ベビーブーマーなので、同世代がたくさん。幼いころから、人がたくさんいる中で育ってきました。友達の家も兄弟姉妹がいるのは当たり前で、一人っ子のほうが珍しかったような気がします。

ところがいまや、子どもの数はすっかり減りました。それもそのはず、日本の

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd 40-41 20/10/29 10:10

総人口は08年の1億2808万人をピークに、いまは減少しているからです。

人生100年時代で高齢者の数は増えていますが、結婚して子どもを産む家庭は減っているので、当然の流れです。

私の周りでも、「仕事に打ち込みたい」「興味がない」「子どもを養う自信がない」など、さまざまな理由で独身のままの友人・知人はたくさんいます。

対して高齢者の数は増えました。

ご存じの通り、日本の高齢化率は28％と世界で最高水準。銀座や日本橋の百貨店で買い物を楽しんでいるのは、おじいちゃんおばあちゃんばかりで、巣鴨と見間違うほどです。人が少ない地方都市だと、さらに顕著でしょう。今後は団塊の世代がさらに歳を重ね、いずれは私たち団塊ジュニアも高齢化を迎えます。

少子高齢化は社会にとってはマイナスです。

気力や体力のある若者が減ると社会全体の活力は失われ、消費も減っていくので経済は停滞します。

結婚や育児、趣味、マイホームなど支出に積極的な若者は少なく、ある程度のモノは揃っていて若者ほど消費をしない節約志向の高齢者が多い社会だと景気は停滞し、働く人たちを中心に収入も減っていきます。いま現役世代の収入が増えないのは、こういった理由もあるのだと思います。

その②　現役世代の収入がヤバい！

サラリーマンとしての収入が十分あれば、いまの生活に困らず、将来の備えも万全。投資などに頼る必要はないかもしれません。

ところが、**現役世代の給与は減っている**ようです。

身近に感じるのは、やはり私のセミナーです。

20～40代の働き盛りの人たちが増えていて、みなさん口にするのは、「お金が

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd　42-43　20/10/29　10:10

足りない」「老後が不安」という言葉。

普段はどんな生活をしているのか聞いたら、「月の小遣いは3万円で５００円ランチが定番」というのはマシなほうで、「酒もタバコもしないので５０００円しかもらっていません。牛丼すら贅沢」という人も。

共働きは当たり前で、夫の収入は生活に使い、妻のパート代を貯蓄に回すケースもありました。

実際、現役世代の平均年収は97年の４６７万円をピークに、いまは４４１万円まで減っています。高齢化で社会保険料など税負担は重くなるばかりで、手元に残るお金はわずか。

あるセミナーでは参加者の給与明細書を見せてもらいましたが、ドギツイ控除の額は正視できず、基本給の低さにも驚きというか、「これで生きろっていうの?」と、血の気が引いたほどです。

だからこそ、年金２０００万円問題はあれだけ炎上したとわかりました。

収入が少ないといまの生活を維持するのに精いっぱいで、先のことまで気が回りません。

当事者たちも、なんとなく暗い未来を直視しないようにしていると思います。子持ちの知り合いからは、「貯蓄ができない」「独身時代の貯金を取り崩している」と聞いたこともありました。

毎月の収入が少ない代わり、退職金に期待している人もいるでしょう。が、これにも期待できません。

そもそも、退職金の制度が充実しているのは大手企業だけで、そこに属している人の割合は圧倒的に少ないはず。退職金がない企業に勤めている人も少なくありません。大手の航空会社に勤めている知り合いからは、「業績が悪くなったから退職金が減った」とも聞きました。

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd　44-45　20/10/29　10:10

いまも将来の収入にも期待ができない。
じゃあ、サラリーマンはどうすれば良いでしょうか。

答えは、**本業以外に稼ぐ手段を持つこと**、これに尽きます。

その③　シニアの収入がヤバい！

収入がヤバいのは現役世代だけではありません。
シニアも同様です。

私のセミナーにやってくる高齢者の方に聞いたら、**「年金だけじゃ足りない」**という人はたくさんいます。

いまはコンビニなどで働くシニアは増えましたが、時給が安いのもネック。都心部なら１０００円くらいあっても、地方だと最低賃金レベルのところもあり、「これじゃ到底暮らせない」と漏らしています。

年金を当てにし、現役時代はあるだけお金を使っていた知人の親のことも聞きました。

休みの日は家族で外食、クルマは定期的に買い替えて、自宅もリフォーム、孫を連れて行くとお小遣い……。「オヤジって金持っているんだな」と思ったそうですが、いざ定年になりフタを開けてみると、たいした年金額じゃないことがわかったそうです。

退職金も当てにしていたそうですが、長引く不景気でその額は少なく、これから親の生活をどうサポートしていくのか奥さんと相談、親族が集まって会議をするなど、揺れているようです。

こういったケースは、みなさんの周りでも普通に起こっているかもしれません。
現役時代に比べると収入が減るのは火を見るより明らかで、家計には大ピンチです。

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd　46-47　20/10/29　10:10

その④　年金がヤバい！

収入が減ったりなくなったりする高齢者の生活を支えるための年金制度。人生１００年時代においても貴重な収入源になるはずです。

政府は「１００年安心」と、物置のコマーシャルみたいなフレーズで安全性をアピールしています。

ちなみに厚生年金受給額の月平均は、いまの80代で16万円台、70歳代で14万～15万円台、60代後半は14万円です。これだけあれば、いまのシニアなら退職金などでカバーできるかもしれません。

ところが、60代前半は一気に8万５０００円に減っています。というのも、厚生年金はもともと60歳から支払われていましたが、法改正で受給開始年齢が引き上げられ、同時に支給額が引き下げられたからです。

年齢が若くなるにつれ額は減り、いまは60～64歳から受け取り始めると、ガクンと減っています。

今後はどうなるでしょうか。

私は、ますます減っていくと確信しています。

簡単な話で、年金を支えているのは現役世代が収めた保険料なのは、ご存じの通り。ところが、少子高齢化で労働者の数は減り高齢者の数は増えるのですから、どうなるかは誰にも想像できます。

１人当たりの受給額は右肩下がりを続けていくでしょう。

結局のところ、人生１００年時代において、「高齢になっても働ける」「１億総活躍だ！」と国はアピールしていますが、それって年金がキツイから、他で何とかしろと言っているのではと疑ってしまいます。

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd　48-49　20/10/29　10:10

その⑤　コロナがヤバい！

「はじめに」では、コロナの影響で今年4～6月期のGDPが激減したと話しました。いまだ収束の見通しははっきりせず、こうした状況が足を引っ張り、20年度全体のGDP成長率も6％くらいのマイナス成長になる見通しです。

実際のところ、これからの日本経済はどうなるのでしょうか。

楽観論と悲観論が入り乱れ、正直なところ、私自身もつかみきれていないのですが、ニュースなどから客観的に見ても、決して先行きは明るくないと思います。

コロナ倒産は10月下旬時点で全国600件を超えていて、その影響も気になります。

私は銀座や六本木や麻布、赤坂にある飲食店と仲が良いのですが、いくつかは店を閉じました。「頑張りましたが、力及ばずです。いままでありがとうございました」というLINEを見て、やるせない気持ちになりました。

コロナ禍で売り上げが激減し、国や自治体、金融機関による融資、助成金の申請に走り回った起業家仲間もいます。

「これだけバタバタしたのは、創業以来かも。レアな体験だった」と言っていました。

アパレルを展開している知人の場合、店舗は閑古鳥すら寄り付かないさまで、「人は考えもしないことに直面すると笑うんだよ」と言われたときは、それを聞いた私の背筋が寒くなったほどです。

彼も融資などで何とかもっていますが、いまだお客さんは戻ってきていません。

コロナをきっかけにリモートワークや在宅勤務にシフトした会社は多く、サラリーマンの出社状況も大きく変わりそうです。

繁華街のお店は、まだまだ影響を受けるのではないでしょうか。感染症を気にする人は一定数いて、外出を控える人はたくさん。冬になると再びぶり返すおそ

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd　50-51　20/10/29　10:10

れもあります。

私のビジネスにも変化がありました。

コロナが深刻になるに従い、メールやＤＭでの問い合わせが増えたのです。

内容はそろいもそろって、「坂本さんの稼ぐ方法を教えてください」というもの。

ここでも、「コロナでヤバいサラリーマンは増えている」と思いましたし、コロナをきっかけに、いまと将来のお金を真剣に考えるようになった人が増えたことに関しては、素直にうれしく思います。

新型コロナは恐ろしい感染症で、私自身も一日も早い終息を願っています。

ただ、それより心配なのは、コロナによって人々のモチベーションが下がったり、ニューノーマルの台頭で消費や経済が低迷することです。

そうすると、ますます私たちの暮らしは貧しくなっていきます。

副業解禁の本当の意味とは？



なんだか暗い話題が続きましたが、そろそろまとめましょう。

これからの人生１００年時代、人が健康で長生きできるようになるのは結構なことですが、そこではお金に対するリスクが高まります。

●人生が長くなる＝より多くのお金が必要になる

ところが……

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd　52-53　20/10/29　10:10

●高齢期になってからの収入：少なくなる可能性が高い
●年金の受給額：少なくなる可能性が高い
●現役時代の収入：すでに減り始めている
●勤め先の退職金：すでに減り始めている
●新型コロナウイルスの影響：短期的にも中長期的にも景気を低迷させる可能性

こうして課題を並べるだけでも、お金がヤバいのは一目瞭然です。

給与や年金に頼り切る生き方こそがリスキーで、これからの社会の在り方にマッチしていません。

かつて、私の世代だとコンビニで水やお茶を買う人を「もったいない」と、バカにしていました。

ところが、いまはどうでしょう。水道水を使う人の方が少数派です。そう思うと、世の中の当たり前なんて何かをきっかけに変わるのは、不思議でないとわかります。

例えば、近年は国や企業の方針で、サラリーマンの副業は解禁に向かっています。

私の周りでも、昼間は本業で働き、夕方以降や週末は経営コンサルタントをしたり、営業サポートで副収入を得ている知人がいるくらいです。

企業はそうすることで人材の流出を防ぎ、優秀な人材を引き留めることができ、他社で働く優秀な人材を活用することができるというもの。副業を通じて社員がスキルアップすれば、企業側は教育や研修コストを削減できます。

副業解禁で人材の流動化が進めば優秀な人材を獲得しやすく、人脈の広がりによりいままでなかった企業同士のコラボもできそうです。

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd 54-55 20/10/29 10:10

副業解禁をアピールすることで他社との差別化になり、活躍する社員が増えるとＰＲ効果にもなるでしょう。サラリーマン側も副業ができれば収入が増え、スキルもアップ。人脈が広がり転職しやすくなります。

ただし、こうした流れですが、本当にメリットだらけでしょうか。

その裏には国や企業の思惑が垣間見えます。

それは、「１つの会社だけに頼らないでくれ」という、裏に隠された国と企業からのメッセージです。

副業が容認されるようになったきっかけは、08年のリーマンショックです。

先進国を中心に世界経済は急速に悪化し、業績不振に陥った企業の給与はガタ落ちしました。

そこで、社員が自発的に収入を補えるよう、副業を認めたのです。そういった会社に勤めていた人もいるのではないでしょうか。

じつのところ、政府や企業は少子高齢化をはじめとする日本の構造的なマズさにとっくに気づいていて、「お金の問題は自分で何とかして」という方向に持っていきたいのだと思います。

では、ここまでヤバい状況が進んでいるのに、何もしないでゆでガエルのようになるのを待つのか、自立した生活のために行動を起こすべきか。

本書を手に取った賢明なみなさんなら、どちらを選ぶべきかおわかりですよね。

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd　56-57　20/10/29　10:10

長生きだけどお金は足りない ジレンマ社会がやってくる？



いずれにしても、給与や退職金、年金と、一般的なサラリーマンを取り巻くお金の事情は、坂道を転げ落ちていくばかり。現役世代は言うまでもなく、長生きするからこそ人生後半のタイミングでお金が足りなくなる危機が迫っています。

いまはそうでないかもしれませんが、気が付いたら、

「欲しいものが買えない」「定年になりゆっくりできると思ったのに懐がさみしい」なんてことも。

老後に関しては特に注意が必要で、つまずくとあっという間に奈落の底へ……。

高齢者の生活保護受給者はここ数年上昇の一途です。

無礼を承知で言うと、**お金の問題について何も手を打たない人が脱落するのは、仕方がない**のかもしれません。

皮肉な話ですが、人生100年時代を迎えようとするからこそ、私たちの生活にはお金に対するリスクが高まっています。

そうであれば、老後も含めた長い今後を見据えて、いまからアクションを起こす＝稼ぐ手段を身に付けることが大切です。

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd 58-59 20/10/29 10:10

給与以外に「稼ぐ力」を身に付けるのが急務



いくら金額が下がっているとはいえ、日々のサラリーは基本的な収入源。しっかり確保しながら、同時にスキルを磨いてキャリアアップ、昇給をも目指したいものです。加えてプライベートでは家計を把握し、余計な支出は抑えましょう。

収入と支出の管理はマストです。定年までの貯蓄の計画を立てたうえで、公的年金の受け取り時期を検討したり、退職後は働き続けるのか、どれくらい稼がないといけないのかなど、長期的に考えておきましょう。

収入のターニングポイントは、定年退職をきっかけに、「現役時代の給与」から「公的・私的年金」と「現役時代より少ない収入」に変わる可能性が高いことです。ところが生活費や医療費、趣味や娯楽にお金がかかり、いずれは介護費用も必要になります。

これらにどう対応していくのか、いまから考え先手を打つことです。

この辺りは、収入と支出の管理の基本中の基本。やっておいて損はないです。

もう1つは本書のテーマである、100年時代を生き抜くために、**給与以外のお金を稼ぐための勉強をすること**です。

具体的には、投資をはじめとする積極的な資産運用のスキルを身に付けます。

あなた自身が発明家で特許を持っていたり、他にはない付加価値の高いスキルを持っているなら副業で稼ぐ手もありますが、株式投資やFX（外国為替証拠金

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd 60-61 20/10/29 10:10

取引）、不動産投資などといった王道の投資、「ｉＤｅＣｏ（個人型確定拠出年金）」や「ＮＩＳＡ（少額投資非課税制度）」「つみたてＮＩＳＡ」といった、税制優遇を受けながら始められる制度もあります。

こうした誰もが始められる投資について、私のところにも「始めた方がいいですか?」という質問がたくさん届きます。

ただし、スキルで稼ぐには技術を磨いたり、自身をアピールするなど、手間と時間を要します。それで収入が倍増するかというと、ハードルは高いでしょう。本業もあるので、取り組める時間にも限りがあります。あくまで、すき間時間に行うことです。

他方、**投資の場合はお金を雪だるま的に増やせる**可能性があります。

これって結局、お金に働いてもらいますからあまり手間もかからず効率的です。

収入源を増やすのに向いています。

私も含め富裕層と呼ばれる人たちのほとんどは、投資で資産を築いています。

それに、投資が面白いのは、実際の景気とかけ離れた動きをすることです。今回のコロナでも世間は大変なのに、日本のみならず欧米の株式市場は、さっさとコロナ前の株価水準を取り戻しました。いちはやく察知して株を買っていた投資家は、濡れ手で粟だったでしょう。

労働だけではなく**投資に頼ることで、稼ぐチャンスは確実に増やせます。**

ですが、投資で成功するには、案件自体が安全なのか見極める目、投資に値するかどうかジャッジする判断力、適切なお金を投じるメンタル力など、さまざまなスキルが求められることも事実です。

というのも、いくらお金をたくさん持っていても見る目がないと失敗続きで無

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd　62-63　20/10/29　10:10

一文になるだけ。騙されて資産を失うことも……。

投資で稼ぐには、それなりの才能が必要です。

さらに、何でもかんでも自分でやる投資はマンパワーに限界が訪れ、いつか回らなくなります。

そこで重要なのが、他力思考の投資、すなわち**「他力投資」を知り学ぶ**ことなのです。

これも、しっかりお金を稼いでいる成功者に共通することと言えます。

そこで、具体的な投資手法のレクチャーの前に、次章では、「なぜ、他力なのか?」について考えます。これを理解すれば、他力投資に対する興味が高まるに違いありません。

027-064_01章_お金の流儀CS6.indd 64　20/10/29 10:10

第2章

お金持ちの秘訣は自力ではなく他力思考にあった！



065-100_02章_お金の流儀CS6.indd 65 20/10/29 10:10

「他力」ならコロナで身動きが取れなくても関係ない



新型コロナの影響で、飲食店やアパレルショップなど街のお店、さらには関連する企業が倒産に見舞われました。これ自体は、残念でなりません。

一方で強く感じたのは、思わぬ事態に遭遇すると、**「自力」はもろい**ということです。

それこそ、レストランやバー、スーパーや鮮魚店、青果店など、繁華街や商店街にある店舗の多くは自営業で、お客が店に来ないことには稼げません。

事業規模が小さいので、アルバイトはいたとしても社員を雇うケースは少なく、経営や日々の運営も、オーナーみずからが腕を振るっていることでしょう。

スモールビジネスでは、ごく当たり前のことですが、ほぼすべての業務を一手に担っているわけです。

ところが、こういったビジネスだと、いざお客さんがお店に来られなくなると、一気に儲けられなくなります。

テレビのニュースを見ていても、「売り上げはいつもの10分の1」「街自体に人が来ない」「このままじゃ持ちこたえられない」と力なく言う、オーナーの姿に何度も胸を痛めました。

私がたまに行っていた銀座の高級寿司店は、ついにお店を閉めることを決め、もっと家賃の安い場所に移転しました。

「コロナのおかげで銀座に来る人が減って、食事客がいないに等しいほど。リモ

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd 66-67 20/10/29 10:10

ートワークで出社も減り、いまは接待もご法度。家賃の高い銀座で商売は続けられない」

店主は悔しそうにブログで経緯を報告していました。コロナ禍なので積極的に「来てください」と言えなかったのもあだになったと思います。

なにしろ、飲食店は「待ち」の営業スタイルなので、来店がないことには売り上げが立ちませんし、どうせ来ないんだからと休業したところもあるでしょう。少なくとも食材のロスは避けられます。いろんな判断を迫られたと思います。

難局を乗りきれた共通点は他力思考だった！



一方で、コロナを逆手に取り、儲かった飲食店もありました。

都内の繁華街にあるカウンターだけ、10人も入れば満員になるある個人経営の和食店は食事のレベルが高く、近隣のサラリーマンはもちろん、経営者や士業、お忍びで芸能人もやってくる評判のお店でした。

この店のオーナーが他と違ったのは、コロナで人が来なくなると思うや否や、店内営業はすぐさまやめて、高級弁当の販売に切り替えたことです。

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　68-69　20/10/29　10:10

かつ、そのことをＳＮＳにアップして宣伝しました。もともと人気店だけに、情報はあっという間に広がり、毎日数百個作る弁当は予約で完売。通常営業より儲かったんじゃないかと思います。

コロナに直面したこと自体は同じなのに、明暗をわけた理由は、どこにあるのか？

すでにお気づきでしょうが、それは**「自力」と「他力」の差**でした。

前項の寿司店の店主は仕入れも調理も営業も自分で行う、いつもと変わらない営業スタイルのまま。いわゆる自力です。食べに来てほしいという思いはあっても、なかなか消費者には伝わりません。

対して和食店の店主は、ＳＮＳという他力（ツール）を利用して、情報を拡散。常連客のみならず、「あの店の弁当なら食べたい」「お店で食べるよりリーズナブル」と、これまで混雑していて予約が取れなかった人たちの注目を集め、お店に足を向けさせたのです。

打撃を受けたのは、飲食業界だけではありません。演劇やライブなど、エンタメ業界も散々な状況です。

そこで私が、ユニークで他の事業者の参考になると思ったのは、劇団四季によるクラウドファンディングでした。６月に始めてからわずか20日間で目標金額の１億円を達成しています。

劇団のネームバリューもありますが、クラウドファンディングという、多くの人から支援を募るプラットフォームを使わずに、ここまで多額のお金が集まったでしょうか。私は、すでにある仕組み＝他力をうまく使ったと思います。

人の「ふんどし」で相撲を取った方が人の目につきやすいわけで、こういった取り組みは、多くの人がマネすれば良いと思っています、

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　70-71
20/10/29　10:10

他力思考だから ゆとりのある生活が手に入った



私は今年で起業してから17年。40人近くのスタッフを抱えるまでに事業は成長し、さまざまな投資も成功しています。

それはすべて他力のおかげ。自力では、ここまでたどり着けなかったはずです。

他力思考のおかげで、時間に追われることもありません。

ビジネスが大きくなればなるほど、忙しくなり、四六時中働いている自力思考の経営者が多くいますが、私の場合はまったく反対で、時間的に余裕が生まれ、ストレスがたまらなくなりました。

朝は、6〜7時に目を覚まし、その後は、コーヒーを飲みながらパソコンかスマホで部下からのメールをチェック、必要な指示を出します。

セミナーや講演が迫っているなら、必要に応じてオンラインでミーティング、プレゼンに必要なデータを部下に集めてもらい、私がまとめ直したものはフィードバックして、パワポで作り直してもらいます。

書類関係の手続きでオフィスに行く必要があるなら行きますが、そうでないならジムに出かけたり、友人とランチを楽しんだり、買い物に出かけることも。夕方以降は日によって食事をしながら商談、友人・知人とディナーやパーティーに興じています。

どちらにしても、私がオフィスにいる必要はあまりなく、スマホとモバイルPCがあれば大体のことに対応できるので、国内でも海外でも旅行がしたくなった

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd 72-73 20/10/29 10:10

ら4〜5日はパッと出掛けてしまいます。比較的、ゆとりのある暮らしです。

最初は「社長ってこんなにヒマ?」と思っていましたが、それでも事業は回り、絶好調（笑）。何も問題ありません。

ただし、私は代々続くような資産家の家庭に生まれたわけでもなく、もともとはみなさんと同じようなサラリーマン。いまは会社を経営する、現役の起業家です。

なのに、なぜこれだけ時間的にも金銭的にも余裕があるのか。

それは、**他力思考を十分に活用している**からです。

「他力」をうまく活用できる人間が豊かになる



みなさんは他力と聞くと、「何事も自分でやってはじめて一人前」「他人任せなんてだらしない」「ビジネスや投資は自分が熱心に取り組むもの」など、自力アゲ・他力サゲの感覚を覚えませんか?

確かに、社会人にもなると親の手を借りずに自立して、仕事だってアシスタントを卒業してやっとスタートライン。男性なら結婚して家庭を持ち一家の大黒柱になってやっと大人の仲間入り、みたいな風潮が日本社会にはありました。

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　74-75　20/10/29　10:10

結婚はともかく、いまも「大人は自力でやるのが普通」と思い込んでいる人は、一定数いるわけです。

ですが、これってまったくの見当違いだと思います。むしろ私は「自力の呪縛」と呼んでいます。

だって、私たちの生活は他力に囲まれていて、そのサポートで成り立っているからです。おんぶにだっこの精神を、私は堂々と貫いています。

ものすごく極端な例ですが、みなさんお米も野菜も自分で作っていませんよね。農家の方が作ったものを運送業者が運び、スーパーの店頭に並んだものや、オンラインショップで買っています。

「それがどうした、当たり前でしょ」と思うなかれ。この時点で、農家、運送スタッフ、スーパーの店員という他の人の力を借りているのです。

コロナ禍では、ネットショップなどEコマースが大いに盛り上がりましたが、これだって、リスクを抑えるために他人に頼ったことにほかなりません。

話が無理やりすぎる？　なら、これはどうでしょう。

最近は共働き家庭が増えているので、レシピと食材が一緒になったミールキットが人気。宅配してくれるので、買い物の手間も省けて重宝するそうです。

これだって、食材の買い出しとメニューを考えるといった自力を他から調達している、他力の1つ。

スーパーやコンビニで総菜を買うのもそう。自分で調理する手間を外注して、調理にかかる手間と時間をカットしているのです。

庫内の食材をチェックして買うタイミングを教えてくれる冷蔵庫があったり、レシピをダウンロードして使うスマート家電もありますが、これだって食材の管理や日々の調理を、テクノロジーという他力にサポートしてもらっているのです。

もっと、日常を見渡してみましょう。

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　76-77
20/10/29　10:10

「結果にコミットする」で知られる某ダイエットなんて、まさに他力を駆使したサービス。自力じゃできないから、プロがトレーニングと食事の管理をしてくれます。

ベビーシッターやハウスキーパーも、育児や家事のプロフェッショナルのスキルを借りるという意味で、代表的な他力ビジネスです。

知らず知らずのうちに、**他力は私たちの生活のなかに入り込んでいる**のです。

自営業になったことが他力思考のきっかけ



前の章でも少し触れましたが、私は副業でネットの物販ビジネスを始め、わずか6カ月で月商2400万円を達成しました。

これもいま思えば、買い物に出られなかったり、リアル店舗で欲しいものが見つからない人が使う他力のサービスです。当時はいまのように日常のサービスではなく、珍しかったからこそ、ニーズが殺到しました。

ただ、その時点では、私はまだ、他力の持つパワーや原理原則に気が付いてはいませんでした。

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　78-79　20/10/29　10:10

私はこの成功を足掛かりに、もっと成功したい、もっと稼ぎたいと思うようになり、ついに脱サラして独立を果たしました。

そうすると、自分が時間を惜しんでモノを仕入れて出品すればするほど、売り上げは伸びるわけです。サラリーマン時代とは桁違いの収入は麻薬のようで、私を自営のビジネスにどっぷり引き込みました。

当時は、頑張りが報われているようで、ランナーズハイに近い気分だったと思います。

ところが、1人でやるビジネスには限界がありました。

顧客ニーズのあるアイテムを見つけて仕入れ続けるのは大変なこと。近所にあるお店からしらみつぶしに探していくので、徐々に範囲を広げていかないといけません。

どれだけ時間があっても足りず、帰ってきたら出品作業、さらには配送作業にも追われ、右肩上がりだった売り上げの曲線は徐々に緩やかになり、次第に横ばいになっていくように……。

それまで、倍々ゲームのように稼いでいた私にとって、かなりショックな出来事でした。「いよいよ頭打ちか」と、身体が震えたこともありました。

正直、「なんでこれだけやっているのに」という気持ちがあり、「何が良くないのか?」と自分にも問いかけました。

そこでふと思ったのが、「人を雇う」ということだったのです。

いま振り返ると、ビジネスを大きくするのに人の拡充なんて当たり前なんですが、当時の私は経営の素人で、そうした考えに至らなかったのです。

ところが、かつての自分がサラリーマンとして会社に力を貸していたように、今度は自分が事業主として従業員の力を借りれば良いと気づきました。

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　80-81　20/10/29　10:10

その後は、スタッフを雇い、トレーニングを重ねて、任せられることはどんどん任せるようになり、いまは多くの業務が私の手から離れています。経営者でありながら、気分的には、オーケストラの指揮者に近いです。

すばらしい音（理想とするビジネス）は理解していますが、それを実現するには奏者の力を借りないといけません。それがわかっているからこそ、ビジネスに力を貸してくれる彼らの存在は大切です。ブラック企業にならないよう、気を付けています（笑）。

自分だけで頑張りすぎない事業を展開していくと、私自身の心に余裕が生まれ、他のビジネスにも目が移るようになり、事業の多角化につながっていきました。会社の業績も乗りに乗り、私自身の資産も急カーブで増えていったのです。

自身を成長させ成功に導く他力思考5つのメリット



他力を重視することで私の生活は大きく変わり、すべてが良い方向に向かっています。具体的にどんなメリットがあったのか、5つのポイントにまとめました。

ポイント①　自分の能力以上のパフォーマンスが手に入る

自分自身が発揮できるのは、能力以内のパフォーマンスに限られます。火事場のバカ力なんていうのは、めったに起きません。ようは、1人1馬力ということ。

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　82-83　20/10/29　10:10

ところが、**他力思考になり周りの人の力を借りれば、1つのことに投入できる馬力、すなわちリソースが増えていく**のです。

例えば、先ほど挙げた和食店の話。経営者やスタッフだけで、どれだけ弁当のことをアピールできたでしょうか。コロナで人がいないなか、ポスターやチラシを作っても、どれだけ多くの人の目に留まったのか。正直、あまり効果はなかったでしょう。

ところが、このお店はＳＮＳの力を借りました。これにより、情報は一気に拡散したわけです。そこにインフルエンサーがいれば、拡散の度合いは一気に高まり、ドーピングをするがごとく馬力は増えます。

能力を超えたパフォーマンスを出すには、他力に頼るしかありません。

タピオカ店を開業した起業家仲間も、ＳＮＳのインフルエンサーの協力があり、オープン初日で50万円を売り上げたと言っていました。

コストを抑えながら効果的なプロモーションができるという点でも、ＳＮＳを活用した他力戦略は大正解です。

会社の経営も同じです。

私1人で年に1億円を売り上げるより、年間６０００万円を売り上げる営業マンが2人いたほうが、業績は良くなります。人件費を差し引いても、余裕でプラスです。

なら、自分だけが頑張るのではなく、優秀な部下を育てて、任せれば良いだけのこと。自身のリミッターを外そうとするのではなく、他人をあてにしたほうが、目標は達成しやすくなります。

スーパーサイヤ人ではなく、スーパー戦隊を目指すのです。

ポイント②　身も心もガス欠にならない

近年は人手不足も影響して、飲食チェーンやコンビニで、ワンオペが常態化し

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　84-85　20/10/29　10:10

ています。強盗被害に遭うなど社会問題にもなりました。

たった1人で切れ目なくやってくるお客の相手をしながら、仕込みや商品の陳列をするなど、多忙で不安で仕方がないでしょう。こうした仕事が長続きしないのは、身も心も削られていくような感覚になるからです。

ところが、私に限らず他力を使いビジネスをして、何千万円、何億円も売り上げている起業家たちは、誰も疲れていません。むしろ、エネルギーに満ちあふれています。

仲間の多くはマラソンやエクササイズ、さらに上をいく人はトライアスロンが趣味など、ハードなスポーツを好み、「どれだけ体力があるの?」と思われますが、決して無理はしていません。

むしろ、**人に任せるから心身に余裕が生まれ、ビジネスと趣味をバランスよく楽しめる**のです。

「なぜ自分だけが大変なのか」と自虐することもなく、「俺だけに負担を押し付けて」と周りを恨むことはありません。

私だって、「これだけ協力してくれてありがとう!」という気持ちでいっぱいです。ですから、うちのスタッフはもちろん、外部の提携先の方にも、必要以上に親切になろうというもの。焦らずビジネスに集中できるので、会社自体もホワイトになっていきます。

自力だと、やりたいことだけではなく、やらないといけないことも自分で抱え込まないといけません。だけど、周りの誰かにとっては、それはやりたいことかもしれないのです。

じゃあ、**思い切って任せましょう**。

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　86-87　20/10/29　10:10

ポイント③　協力関係が生まれやすい

他力思考で社内や外部の人とかかわっていくと、**協力体制が生まれ、成功体験を分かち合う**ようになります。

これがたまらなく快感で、さらに他力の輪＝人脈が広がり、その結果、周りの人たちから学び、自分からも惜しみなく伝えることで、ともに成長しやすくなりました。

40代後半になり、私が億単位の利益を出し続けられているのは、この協力関係を、徹底的に重視したおかげです。

たった1人でスタートし、他力について考えてもいなかったときは、結局ビジネスは加速しませんでした。

ところが、他力を使って協力することで、メンバーはまた新しい協力者を連れてきてくれて、組織は力強くなることに。協力関係が富を築いたのです。

そう思うと、かつて壁にぶつかったのは、ラッキーだったと思います。あのままだったら、ここまで成長してなかったでしょう。

ポイント④　成長度合いが速くなる

三人寄れば文殊の知恵と言いますが、自分1人でアイデアを練っても、アウトプットには限りがあります。

それよりは、**信頼できる人と一緒に知恵を絞ったほうが、奇抜で効果的なアイデアが生まれる**可能性は高いです。

ビジネスの世界では、複数の参加者が自由に発言して、相乗効果でアイデアを出していく、ブレーンストーミングが有名ですが、これも他力をうまく使ったディスカッションの手段。お互いが刺激しあうので、成長のスピードは自力と比較にならないほどスピーディーになります。

また、他力を実践すると、自分よりも優秀な人の知識や知恵、実行力を、あたかも自分のモノのように使うことができ、これをフィードバックすることで、成

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　88-89　20/10/29　10:10

長を加速することも可能です。自分の能力も惜しみなく与えることで、お互いにプラスに働きます。

現在、私は自分の成長のために、すべてのプロジェクトをチーム体制で行っています。

1人でやっていたときは、自分のレベルも変わらず苦労しましたが、**チームでやることで自分自身が飛躍的に成長できる**のを実感したからです。

同時に、私の存在がスタッフの成長につながれば良いとも思っています。

特に私のチームには若いスタッフが多く、彼らの知識や柔軟な発想を自分のビジネスに活かすことは多く、助かっています。

年代、性別、出自、経験……多様な人の力を借りれば、どれだけ歳を取っても、心の老化とは無縁。成長していきます。老害とも呼ばれたくないですし（笑）。

ポイント⑤　自立・自律していく

ビジネスにおいて、権限を他人に移譲するのは勇気がいります。

自力思考の人ほど周りを信用できず、「自分でやったほうがいい」「裏切らないか心配」といったことを思いがちで、結果、自分を追い込んでドツボにハマります。

私はこれまで多くのビジネスマンを見てきましたが、**ビジネスが成功するかどうかの分かれ道は、まさにこの「任せる力」がすべて**だと言っても過言ではありません。

成功者は任せることに躊躇（ちゅうちょ）なく、たとえ失敗しても、その人のせいにしません。しっかりと振り返り、同じミスをしない仕組みを組み立てて、また人に任せます。そうでないと、ビジネスは大きくならないとわかっているからです。

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　90-91　20/10/29　10:10

ですが、成功できない人は必要以上に神経質になりすぎて、人に任せられません。「自分がしたほうが確実」「ミスがあると面倒」と、自分本位だから周りの人は育たず、延々と一人相撲を取るだけです。

気張りすぎないのが他力思考への近道



本来、困ったことがあり誰かがサポートを申し出てくれたなら、「ありがとう」と言って、受け止めれば良いだけ。

ところが、いわゆる頑張り屋さんは、それができません。プライドが邪魔するのでしょう。

ですが、その**プライドこそが、自分の成長を阻んでしまうリスク要因**です。

自分の才能を過信する人も、うまく他力を使えていません。だって、彼らは

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　92-93　20/10/29　10:10

「誰かに任せるより自分がやったほうが正確で早い」と信じているからです。

やることが少ないうちなら構いませんが、多くなっていくとどうでしょう。いつか破綻するのは目に見えています。

過度なプライドだけではなく、自己責任、自己犠牲の精神も、他力思考を育てるのに向いていません。

頑張る必要はないんです。責任という呪縛から、いますぐ解放されましょう。

なんでもマルチにこなせるエリートは一握りしかいなくて、ドラマの登場人物だけで結構です。**周りを信用しないで自分だけで何もかもしようとする人は、その人自身も信用されない**のです。

優秀な経営者ほど他力の大切さを理解しているので、私もうちの従業員にそうあってほしいと願っています。そのほうが組織のパフォーマンスは上がるのですから。

よって、「自分の才能を冷静に見極める」「猫の手を借りるのは間違いじゃない」「支援を受けるのは恥ずかしいことじゃない」と価値観を改め、**気張りすぎないことが他力思考を身に付ける近道**だと思います。

己を認めるとラクになるのです。

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　94-95
20/10/29　10:10

他力を生かせるのは ビジネスばかりではない！



自力よりも他力、その良さを述べてきましたが、いかがですか。思い当たる節があったり、なかったり、でしょうか。

私の経験では、自分がそうだったように、サラリーマンやフリーランス、自営業の人には自力思考の人が多いという印象。

一方、自社の社員や取引先、外注先と一緒にビジネスを育てていく起業家には他力思考の人が多いと感じています。ときに、業種の垣根を超えて、多くの人を

巻き込んで同じ目標を達成しています。

そこでわかったのは、**金持ちになる秘訣は他力**だということです。

自力だとメンタルと体力にも限界があり、壁にぶつかってしまいます。

それよりは、ビジネスに重要とされる、ヒト・モノ・カネを他から調達しやすい起業家のほうが他力を使いやすい環境にあり、それに気づきやすいのです。

自分ではないリソースをうまく使い、成功していきます。

そもそも、事業の血流ともいえるお金を銀行から借りられるのは、事業家のアドバンテージです。融資だって、銀行という他力の協力あってこそ。

こうした持論を展開すると、サラリーマンやスモールビジネスのオーナーからは、「自分たちには関係ない」と言われそうです。

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd 96-97 20/10/29 10:10

決してそうではなく、要所ごとで他力を使って仕事をうまく回したり、大きくすることはできます。会社で出世したり、個人事業から法人にステップアップすることも可能です。

とにかく、**他力はやったもの勝ち**です。

他力思考が発揮できるのは、ビジネスだけではありません。

むしろ、もっとマッチしているのが**「投資」**だと思います。

それは、それ自体が自分ではない他人の事業、他国の成長に乗ることで、利益を狙うものだからです。

例えば、コロナ禍ではアマゾンなど、ネットショッピングのニーズが大きく高まりました。

ただし、多くの人は自分がアマゾンや楽天などで働いているわけではなく、Eコマース関連の仕事についているわけでもなく、「便利だな」と思うくらい。「それ以外は自分に無関係」と思うかもしれません。

ところが、アマゾンで働いていなくても、アマゾンの株を買うことはできます。そうすれば、自分は資金を投じるだけで労を負うことなく、企業の成長で資産を増やすことが可能です。

まさにこれは、他力を駆使した稼ぎ方ではないでしょうか。

そして、投資は会社員、フリーター、自営業者、社長など、どんな立場の人でも始められます。

元手もそんなにかからず、投資信託なら1万円もあれば十分。ハードルは高くありません。

投資と聞くと、「怖い」「大事なお金をなくすかも」「そんな簡単な儲け話は詐欺」とネガティブなイメージを持つ人は少なくありませんが、これまで述べてき

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　98-99　20/10/29　10:10

たように、１００年時代を生き抜くのに会社の給与や年金だけに頼るほうが、よっぽどリスキーです。

「何もしないで銀行に置いておけば良い」という声もありますが、いまは低金利でまったくお金は増えない時代。一方、インフレになると現金の価値は目減りしていき、何もしないことも、大きなリスクなのです。

人生１００年時代を楽しく安全に過ごすためにもお金は必要で、**他力思考で稼げる投資の知識とテクニックは、現代人に求められる必須のスキル**です。

では、今後私たちは、どういったスタンスで投資に臨めばよいでしょうか。

次章では、他力思考と投資の関係、投資のメリットにはどういったものがあるのかなど、事例を交えながらレクチャーします。

065-100_02章_お金の流儀CS6.indd　100　20/10/29　10:10

Column

超富裕層のお金の思考法 パート1

世の中には、ビジネスや投資で成功を収め、巨万の富を築いた超富裕層が存在します。iPhoneやiPadといった、それまでなかったモノを生み出した、アップルのスティーブ・ジョブズ。ネット書店から始まり、いまではあらゆるものを扱い、音楽や映像も配信、AIを駆使したスマートスピーカーまで扱う、アマゾンのジェフ・ベゾス。日本にも一代で財を成した名経営者はたくさんいます。

昔の私は、こういった天才たちは特別な存在だと思っていました。だって、誰もが思いもしない発想で新しいモノやサービスを作り、それを全世界に広めるなんて、普通の人間にはできませんから。

ですが、私も脱サラして苦労しながらも他力の良さを知り、それを取り入れビジネスを大きくしていくなかで、「おや?」という場面がありました。

101-106_02章_コラム_CS6.indd 101 20/10/29 10:10

「これって、規模の大小はあるけど、世界の偉人たちも通った道なのでは」と思ったわけです。

そこで調べ始めたのが、超富裕層の思考法や行動でした。これをマネすると、自分自身も同じように成長できると考えたのです。ある意味、これも他力ですよね（笑）。

いずれにしても、超富裕層には独自の考え方や習慣があり、それらが成功に関係ないはずがありません。というのも、あまりにも共通点が多いからです。

私自身もこれまでたくさんの成功者に会い、彼ら特有の思考法や習慣を目の当たりにしてきました。その多くは、国内外で名の知れた起業家に通じるものがあります。ここでは、代表的なものを紹介しましょう。

その① 自分への教育費をケチらない

超富裕層は、学びに貪欲です。外からの刺激＝他力が新たな発想につながるとわかっているのでしょう。自分磨きのためのお金は1円たりとも惜しみません。

これは私も共感することで、いまでもセミナー受講に年間数百万円を使っています。内容もさることながら、プレゼンの組み立て方、表現方法など、学ぶことはたくさんあり、それはとても参考になります。

結果、私のセミナーの質が上がり評判が口コミで広がれば、会社の利益につながっていきます。例えば収入の5%は教育に使うなどルールを決めて、本でもセミナーでも、内面磨きのために使うのはお勧めです。

ようするに、自分1人の能力はたかが知れていて、優秀な誰かの知識やノウハウを、どんどん吸収しましょう、ということです。

101-106_02章_コラム_CS6.indd 102-103 20/10/29 10:10

その② 買い物も投資も予算を決めて使いきる

「お金持ちほどケチ」と言いますが、これは合っているような、間違っているような。私からすると、「目的のないお金は使わない」「消費のために消費はしない」といった感じです。

必要なら大胆に使い、そうでないなら1円たりともムダにしません。ケチとは違いますね。

例えば私の場合、住まいやクルマ、腕時計など、衣食住を潤すお金に糸目はつけません。便利な場所に住めば移動の時間やコストが下がり、コンシェルジュといった便利なサービスで日常を効率化できます。

高級品を身に着けるのも、それらに触れることで本物を見る目を養ったり、モチベーションアップにもひと役買うからです。目的のある贅沢は決して悪いことじゃありません。

交際費や教育費などは月々の予算を決め、しっかりと使い切るのもポイントです。それぞれに必要な額を設定すれば、決して余らせないこと。教育費なんて、自分を成長させるためのコストなのに、「節約できた。ラッキー」じゃ、意味がありません。

投資も予算＝許容できるリスクの上限を決めておくと、失敗してもリカバリーできます。これを超えて投資をするから「うまくいくはず」「こうなってほしい」という決めつけや願望が先行して、冷静な判断ができなくなるのです。

誰もがミスを犯す可能性はあるので、「これなら大丈夫」という予算感を持つことは大事だと思います。

その③ マネープランを立てている

お金を稼ぐにはお金に対する最低限の知識は必要です。

収入と支出、ためる、投資など、これらを知らないと資産は増えていきません。

101-106_02章_コラム_CS6.indd 104-105 20/10/29 10:10

道具と道具の使い方はマスターしないとダメです。

ザックリでも良いので、どれくらいのお金が欲しいか想像するのも良いでしょう。なら、現実とのギャップがハッキリして、それを埋めるには労働や投資など何が必要で、いつまでに何をすべきか、わかってきます。「投資をしないと目標に届かない！」と、労働に頼らない生き方に気づくきっかけにもなるのではないでしょうか。

マネープランを立てるときには、「いまと同じ」「少しグレードダウン」「少しグレードアップ」「底辺」「最高の生活」など、具体的な姿をいくつか想定し、そのために必要な金額を考えます。

例えば、定年後に働きたくないなら、貯蓄や運用で家計が回るようにしないとダメ。年2回は海外旅行をしたいなら、その予算も積み上げて……と、どんどん将来の見込み予算を決めていきます。計画があると実現に向かう原動力になり、下手な無駄遣いも減るはずです。私自身は定期的に人生の目標とコストを、見える化させています。

101-106_02章_コラム_CS6.indd 106 20/10/29 10:10

第3章

他力投資こそが富裕層へのカギ



富裕層は他力思考の投資で儲かっている！



世界を見渡せば、マイクロソフトを創業したビル・ゲイツ、フェイスブック創業者のマーク・ザッカーバーグ、日本でもソフトバンクの孫正義、ファーストリテイリングの柳井正……言わずと知れた、ビジネスで成功して巨万の富を築いた富裕層です。

現代の偉人たちであり、リビングレジェンドといったところ。知らない人はいません。

こうした人たちの名前を挙げ、「自分と比べてどう思いますか?」とセミナーで尋ねると、ほとんどの受講者は、次のように答えます。

「自分とは違う」
「天才」
「雲の上の存在」
「別世界の人」

気持ちはわからなくもありません。なんといっても、相手は世界経済に影響を与える才能の持ち主ですから。

ですが、そんな感想で終わらせるなんて、もったいない話です。

なぜなら、彼らの行動をマネるだけで、みなさんも富裕層への一歩を踏み出せるのですから。

夢物語？　いやいや、じつは超カンタン。それが、他力思考にのっとった投資

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　108-109
20/10/29　10:10

であり、世の中のお金持ちほど、この他力投資の柱を何本も持っているのです。

よくよく考えてください。

いくら才能があるとはいえ、たった1人で世界規模のビジネスを展開するなんて、あまりにも無茶なこと。

それを可能にしたのは、彼らのもとに、ビジョンや理念への共感、ビジネスモデルへの期待、野心など、理由はさまざまでしょうが、キレ者が集まってきたからです。

「新しい事業を考えるのが得意」「金勘定が好き」「テクノロジーに強い」など、**異なる才能を持つ人が集まってこそ、ビジネスは拡大していく**のです。

それには、経営者に類いまれなる人としての魅力、先見性、才能が必要でしょうが、もっとも重要なのは、「人に任せられる」というスキルです。

これができてこそ、両手で抱えきれないほどの成功、お金、名誉が手に入ります。

世界の名だたる経営者にはかないませんが、私もたった1人の自営業から始まり、挫折を経てスタッフを抱えることで飛躍しました。

ずば抜けたビジネスの成功は、チーム戦のおかげです。

さらに学ぶべきことは、世界的に成功を収めた有名な経営者ほど他力投資がうまく、他人や他社、他国の成長にあやかり自社のビジネスを大きくしたことです。

例えばフェイスブックは、「インスタ映え」でお馴染みの、インスタグラムを買収したことで知られています。

インスタはアプリ公開後数カ月でユーザーが100万人を突破したモンスターアプリで、同じくSNSを展開するフェイスブックにとっては、ライバルとも言

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　110-111　20/10/29　10:10

える存在。買収することで競合の芽を摘み自社の地位を安定させ、その後のインスタの成長で企業価値は大幅にアップ。会社の広告収入や株価は上昇しました。

インスタに投資をして、その成長に乗ったからこそ、フェイスブックもこれだけの企業になったのです。

他力投資がうまいと言えば、ソフトバンクの孫さんです。彼は決断も早く、会社は、M&A（企業買収）を繰り返すことで、日本を代表する企業に成長しました。

いまでこそ、6兆円超の売り上げ規模をほこるソフトバンクですが、その前身は福岡で興したコンピュータの卸売業でした。

ところが、1996年に米ヤフーとともに日本法人のヤフー（いまのZホールディングス）を設立。その3カ月後には米ヤフーの株式を取得して、筆頭株主になりました。

さらに、日本テレコムやボーダフォンを子会社化して、通信事業に進出。中国でインターネット通販などを手掛け、いまは世界最大規模になったアリババにも投資していて、昨年はコワーキングスペースを展開するWeWorkやウーバー・テクノロジーズなどにも出資しました。

ソフトバンクの歴史＝投資の歴史といったところです。

孫さんはかつて、「同志的結合の集団を作りたい」と言っていて、これは買収する側とされる側が、ともに成長していくという考え方です。

その言葉を聞いて思ったのは、これは、他社の力も借りて規模を拡大する、他力思考にのっとったやり方だということ。企業買収、すなわち**他力投資が成長の起爆剤になる**とわかっているのです。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　112-113　20/10/29　10:10

投資とは「他力」で稼ぐ仕組みのこと



投資＝他の成長に乗ってリターンを得るもの、ということはわかったはずです。世の中にある投資のほとんどは、他力で稼ぐ仕組みです。他力は人の力に限らず、モノ、カネ、システムなども指します。それらをうまく使えば、富裕層への扉を開けます。

例えば、資産運用のメジャーどころへの株式投資。これなんて、まさに他社の成長にあやかり儲ける他力の手段です。投資家は有力な銘柄を見つけて投資するだけ。それさえ間違えなければ、一攫千金を狙えます。

「一攫千金は言いすぎじゃない？」と思うかもしれませんが、みなさんも知っている会社は、成長の過程で株価も上昇しました。

ヤフーの株を１９９７年の上場当時に1株買って持ち続けていたら、２００万円の資産は億単位に増えています。

ユニクロで知られるファーストリテイリングの株価も初値から約70倍になりました。セブン&アイ・ホールディングス（上場当時はセブン・イレブン・ジャパンでした）も同様です。

持ち続けるだけで成長の波に乗り、その人は富裕層の仲間入りをしています。

そもそも、日本人にありがちな、「汗水たらして働くのが正義」という考え方は間違っています。「お金を楽して稼ぐなんて汚いこと」なんて、圧倒的に古い考えです。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd 114-115 20/10/29 10:10

彼らがやったのは、株を選んで、それぞれの会社の成長に乗っかっただけです。自力なんて使っていません。

「何十年も待てない！」と言う人もいるでしょう。

ご心配なく、昨年から過去5年で株価が10倍超の銘柄は１７０種類ほどあります。

ライザップグループは51倍、過去10年なら約１４６倍です。１年間で株価が10倍になる、テンバガー銘柄も決して珍しくありません。

「儲かる銘柄を探すのが大変なのでは？」と思うでしょうが、それはやり方次第です。

いまは銘柄探しに関する情報は、ネットなどにあふれかえっています。

株式情報サイトにアクセスすれば、株価の上昇や下落、一定期間に買われた、売られたといったランキング情報、さらにはプロのアナリストや有名なトレーダーが相場を分析しています。

こういった情報を参考にすれば、優良な銘柄にアクセスしやすくなるのです。

つまり、銘柄探しといった自力が要求されるプロセスも、世の中にあるさまざまなコンテンツ＝他力でラクにできます。

「お金は手に汗かいて稼ぐもの」という風潮はありますが、そんなのはまったくウソ。

大事なのは、どこに重要な情報があるのかを見つけ出し、それを活用して、自分にラッキーを引き寄せることです。

情報収集のテクニックが身に付くことで自分自身のスキルもアップします。使えるものは使いましょう。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd 116-117 20/10/29 10:10

FXは国の成長、不動産はエリアの人気に乗っかる投資



米ドルと円など、通貨を売買して利益を狙う、FX（外国為替証拠金取引）はどうでしょう。

リアルタイムで動き続ける為替相場を追いかけて、売ったり買ったりを繰り返し大変なイメージですが、これだってやりよう次第。ようは、短期のトレードにこだわらなければ良いのです。

例えば、日本に比べてアメリカの景気が良く、国が成長しそうと思うなら米ドルを買っておくだけ。あとは、買値より円安になったときに売れば、その差が利益になり手に入ります。

ようするに、FXは国の成長に乗る投資です。

株と同じく、投資家は成長しそうな国の通貨を見つければ良いだけで、これも他力投資と言えます。

不動産投資も同様です。

マンションやアパートを買い、入居者から得た家賃は労働によりもたらされたお金ではなく、不労所得です。

誰も借りてくれなさそうな場所に家を買うとマズいですが、都心など賃貸需要のある場所に買えば、安定的に利益が得られます。

これも、エリアの人気や入居者という他力を活用した資産運用の方法です。サラリーマン大家という言葉がいまは広く知れ渡りましたが、この分野では他力で稼いでいる人が多い印象です。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd 118-119 20/10/29 10:10

私には、シンガポールやタイなど、アジアの国で高級コンドミニアムを買いあさっている友人がいます。

かくいう私も数戸は持っていますが、彼は10戸を超える規模です。日本に比べると物件の価格が安いとは言え、トータルの投資額は億をくだらないでしょう。

人気のエリアなので、それなりに家賃は高いのですが、どこも入居者で埋まっています。

海外でも高級コンドミニアムが建つような場所は海外の大手企業の駐在員が住むので、一定の賃貸ニーズがあるのです。そうでなくても、ローカルのアッパー層が住んでくれます。

なぜ、目の届く日本国内ではなく海外で不動産を買うのか。

答えはシンプルで、「売ったときに利益が出やすい」からです。

友人の場合、ちょうど7～8年前に買った物件を去年売ったところキャピタルゲインが得られ、当時から為替も円安になったので、その分でも得をしたそうです。

日本と違って、アジアには、これから経済成長していく国がたくさん。日本よりＧＤＰ成長率が高い国だってあります。

若い世代が多く人口が増えているので賃貸物件のニーズが高く、部屋に人が入らないといった心配とは無縁です。

国自体が右肩上がりなので不動産の価値も上がり、１０００万円で買った物件が２０００万円になることもザラです。これなら、家賃収入に加えて売ったときにもリターンが得られるので、一挙両得になります。

ＦＸと同じく、海外不動産投資も国の成長に乗る醍醐味があるわけです。

さらに、ここ数年は、ビットコインなど仮想通貨の売買も話題になっています。

例えば、ビットコインの価格なんて、５年前は４万円ほどしかしませんでした。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　120-121　20/10/29　10:10

それが、２０１７年の12月には２００万円を超えることに。その後はガツンと価格が落ちて、一時期は1ビットコインが40万円弱のこともありましたが、今年10月下旬時点では１４０万円近くまで上昇しています。

この間に、うまく売買を繰り返して、資産が1億円を突破した「億り人」が続々と登場し、いろんなメディアで取り上げられたので、知っている人も多いでしょう。

私もありがたく儲けさせてもらいましたし、セミナーの参加者など、私の教え子たちもガッツリと稼いでいます。

それは、大半の人と同じく、「仮想通貨はヤバい」「だまされる」と思わず、身銭を切って、本当に稼げるのかどうか試したからです。ややこしい言い方ですが、他力を使って資産を増やすにも、「行動を起こす」という自力の決断は必要です。

ただ、この自力も、広く情報収集をしたり、誰かの成功談を参考にしたり、「他人が集めた価値ある情報」「先に体験した人のエピソード」と、他力が後押し

しています。

ちなみに、仮想通貨にはビットコインだけではなく、イーサリアムやライトコインなど、「アルトコイン（ビットコイン以外の仮想通貨）」がたくさんあり、仮想通貨の取引所に口座を持てば、円と交換して取引ができます。

これを取引している人も多く、それこそ何年も前から始めている人は数千万円単位で儲けていて、コロナ禍では世界各国の経済が悪化して投資資金が仮想通貨市場に流れ込んだので、それで儲けている人はたくさんいました。

私自身、国家や国境を気にしないで世界中で使える仮想通貨の仕組みに魅力を覚えましたし、何よりも「この値動きを利用して他力投資で稼ぎたい人はたくさんいる」と思ったので、あえてこの世界に飛び込みました。その読みは当たったようです。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　122-123　20/10/29　10:10

仮想通貨のシステム維持や更新作業に参加して報酬を得る「マイニング」でコンスタントに稼いでいる教え子も何人かいます。

マイニング用のマシンやソフトのインストールが必要だったり、ハードウェアを必要としない「クラウドマイニング」という始め方もありますが、スタートするとあまり手間はかからず、基本的にはほったらかしであったり、1日に1回システムをチェックするくらい。システムに任せておけばマイニングは進み、仮想通貨の形で報酬がもらえます。

ある教え子は10万円の初期投資が半年で百万円を軽く超え、２０００万円を投じた人は毎月８００万円分の報酬を得ています。

これも第4章で改めて述べますが、マイニングは効率的で効果的な他力投資の1つです。

他力投資のメリットをおさらい



他力投資をイメージするなら、家の軒先に置いた自販機のようなものです。商品を補充したら誰かが買ってくれて、収益が手元に残ります。世の中の富裕層ほど、その自動販売機をさまざまな場所に設置して、膨大な富を築いているのです。

ようは、**なるべく手間をかけず稼ぐ仕組みを作る**のがポイントで、逆説的に言うと、**他力を利用して安定して稼ぐことができる手法が投資**なのです。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　124-125　20/10/29　10:10

なぜ、ビジネスに忙しい起業家や富裕層が投資に積極的なのかというと、多額の資産があり運用の必要性に迫られているだけではありません。それは、**他力を使ったほうが効率よく資産を増やせると知っている**からです。

では、他力投資にはどういったメリットがあるのでしょうか。私の実感をまとめました。

他力投資のメリット①　自分は選ぶだけ

株式投資なら銘柄を選ぶだけ、ＦＸなら通貨ペアを選ぶだけ、といったように、投資家自身に、あまり多くのジャッジが求められません。

私自身は株式投資を始めた当初、「会社四季報」やマネー雑誌、株式情報サイトを何度も見て、どの株が儲かるか分析手法を必死に学んでみました。

ですが、気が付くと投資のためというよりは、分析自体が目的みたいになり、「これじゃ意味がない」と後悔したことがありました。

それよりは、テレビやネットのニュース、仲間たちとの情報交換、あとはマニアックではなく自分なりの「この会社は絶対儲かる」といったシンプルな見立てで、十分だと思いました。

世の中には投資をサポートする情報がたくさん転がっていて、ブログなどで手法や売買テクニックを披露するトレーダーもたくさんいます。

こういったヒントをうまく使えば、投資家自身が勉強をしまくる必要はなく、銘柄選びに時間を取られなくなります。それくらいのスタンスのほうが気疲れすることもなく、投資自体が長続きします。

他力投資のメリット②　成長の波に乗るだけ

自力ではなく他力ですから、投資家自身はお金を出すだけで、基本的にはほったらかしです。何もしなくてよいのです。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　126-127　20/10/29　10:10

頑張ってくれるのは、企業や国といった投資対象です。その成果が投資のパフォーマンスとなり現れるわけです。

私自身が投資をする際もここは大切だと考えていて、**他力投資が儲かるのは、成長の波に乗るから**です。

逆に言うと、成長しない投資対象に資金を投じても、失敗するのが関の山。椅子に腰かければ目的地まで確実・安全に連れて行ってくれる極上のハイヤーに乗れば良い、そういった気持ちで対象を見つけ、投資するべきです。

あとは他力が成功に導いてくれます。

他力投資のメリット③　取引に振り回されない

他力投資が始まると、あとは投資対象が頑張って自身の価値を高めるよう、成長のエンジンを回します。

よって、投資家自身はあまりすることがなく、取引に振り回されることがありません。

投資は大事な資金を使うからこそ、買った銘柄の株価が下がるとパニックになり仕事に手がつかず、冷静に判断が下せなくなることもあります。

セミナーの受講者からも、「FXを始めたら取引が気になり仕事のミスが増えた」といった悩みはよく聞きます。

そうではなく、じっくり結果までを待てるのが他力投資のメリットです。

焦らずじっくり取り組んでください。

他力投資のメリット④　労働では手にできない結果が期待できる

先ほど挙げたヤフーやセブン&アイ・ホールディングスの話じゃありませんが、他力投資の場合、自分1人では到達できないパフォーマンスをもたらすケースがあります。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　128-129　20/10/29　10:10

サラリーマンであれば、仕事で稼げる金額はだいたい決まっていて、よほど立派な仕事に就いたり出世をしないと、昇給も期待できません。

40年間働き続けた生涯年収は、2億円くらいです。

ところが投資の場合、1回で大きな利益を得られることもあれば、**取引を繰り返すことで雪だるま式に資産を増やす**ことだってできます。

セミナーの教え子で多いのは、10万円くらいから株を始めて、最初は1回の取引で3000円くらいの利益、次は10万3000円を使って4000円の利益というように、コツコツと複利で資産を増やす手法です。

地道かもしれませんが、気が付いたら給料よりもっと稼げるようになっていました。

あまりにも短いスパンで売買をすると疲れますが、適度にチャートをチェックして企業の成長や他の投資家の動向に乗り、稼いでいけば良いのです。

他力投資のメリット⑤　飽きずに続けられる

投資が長続きしない原因は、売買が面倒だったり、余計な時間がとられるから。

結局のところ、誰だって手間なくラクに儲けたいのです。

株だったら銘柄選びや相場分析に時間をかけていては、面倒になるばかり。しかも、取引に負けたら目も当てられません。

それよりはシンプルな仕組みにしたほうが負担にならず、長続きしやすいのです。

私の場合、物販ビジネスから始まり仮想通貨や事業投資など、さまざまな投資を並行して行っていますが、なるべく手間をかけない他力投資だから続けられていると思います。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　130-131　20/10/29　10:10

手間の部分を誰かに任せられるというのは、じつは大切なところです。

というのも、時間も忘れて自力で取り組んだ結果、投資が面倒になりやめてしまうと、そこからの利益は途絶えてしまいます。サラリーマンなら、もとの給料生活に逆戻りです。

大事なのは、**「やめないで済む」仕組みを作る**ことだと思います。

富裕層が資産運用をする場合に、資産運用まで任せるプライベートバンク、最近は証券会社などが提供するラップ口座、ＩＦＡ（独立系ファイナンシャルプランナー）などと契約を結び、運用にかかわる投資判断や売買、管理などを一任するサービスを活用するのは、手間をかけないほうが長続きするからです。

コストがかかっても労力をかけず、その部分も他力にしたほうが良いのです。

他力投資を成功させるには？



いろいろと他力思考の投資について述べましたが、注意してほしいのは、投資なら何でも良いわけではないことです。

私の生徒でもよくあるのが、「ＦＸのスキャルピングで頑張っています！」といった報告です。

スキャルピングとは、とても細かい値動きの売買を繰り返して利益を取るトレード手法ですが、これをするには相場に張り付き、延々とチャートを眺めないと

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　132-133　20/10/29　10:10

いけません。

この手法で勝っていればまだしも、スキャルピングはカンに頼るところも多く、大勝ちできるときもあれば、サッパリなこともあります。長続きするかといえば微妙なところで、疲れ切って取引を放り出すトレーダーは多いのです。

FXの場合、相場は平日24時間開いているので、スキャルピングをしているとやめ時もわからず、若いうちは体力があっても、歳を取ると、正直ツラいやり方です。

このように、せっかくの他力投資も使い方を間違えると自力の要素が高くなってしまい本末転倒、あまり意味がありません。

じゃあ、何に気を付ければ良いのか。まとめてみました。

他力投資成功のカギ① 短期目線になりすぎない

先ほどFXの例を挙げましたが、株も含め値動きを追う投資は、ついつい追いかけたくなるというもの。わずかな値幅でも投資額が大きいと、それなりの利益になります。

もちろん、相場がグッと動いたときは流れに乗り、短期売買で稼ぐのは悪くありません。

ですが、それはあくまでも臨時ボーナスのようなもの。いつも、この手法で稼ごうとすると、パソコンやタブレットとにらめっこすることになり、自力の要素が濃くなっていきます。

そして、自力に頼るようになると、予想と異なる動きをすると冷静さを欠いたり、「もっと稼げる」「損をしたくない」「元に戻るはず」「価格が上がるはず」というように願望ばかりが強くなり、それはもう投資ではなく、ギャンブルの考え。うまくいくはずがありません。

投資は、焦らずにできる方法で取り組むことです。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd 134-135 20/10/29 10:10

実際に、中長期でやっていると、それほど投資にのめり込むこともありません。日々の値動きに一喜一憂しても仕方ないですし、中長期のスパンで勝負するとわかっているので、パフォーマンスはたまにチェックするだけで構いません。

百歩譲って、株や為替の価格が気になるとしましょう。それだって、スマホアプリのアラート機能を使えば、指定した価格になると知らせてくれます。

売買にしても、すべて手作業ですることはなく、売買したい価格を指定すれば取引を自動化できるなど、投資家の手を煩わせないサービスもたくさん。

これも、機能を使うという点で他力の手段です。

他力投資成功のカギ② 便利なサービス・システムを積極的に使う

いまは、いろんなテクノロジーが発達し、手間をかけずに済む投資のサービスや仕組みが数多く提供されています。

それらを活用すればお任せのトレードが実現し、他力投資ははかどります。いくつか紹介しましょう。

システムトレード（システレ）

あらかじめ決めておいたルールに従い、継続的・機械的にトレードする投資法です。

海外では有効なスタイルとして確立していて、ヘッジファンドなど投資のプロはシストレで取引することが増えてきました。

株式投資やＦＸ向けのサービスが多く、専用のソフト・アプリを買わせたり、サービスの一環として提供する証券会社も少なくありません。

投資のプロが作ったルールが多いので投資の初心者でも始められ、マニアックな人は自分でルールを作ることも。相場観を持たずに売買ができ、感情に左右されることもなし。相場に張り付くこともなく、「システムに任せる」という意味では、これも他力投資の一種で間違いありません。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd 136-137 20/10/29 10:10

ロボアドバイザー

「投資の目的は？」「リスクの許容度は？」など、いくつかの質問に答えるだけで、投資家に合った資産運用のプランをＡＩが提案、もしくは運用まで行うサービスです。

アドバイスだけをするサービスであったり、投資一任サービスを選ぶと、ＡＩが投資家の資金を使い取引までしてくれます。

投資対象は投資信託や国内外のＥＴＦ（１７４ページ参照）など。感情的にならないＡＩによる客観的なサポートだと安心という声もあり、投資の初心者を中心に支持を集めています。

積立投資を利用する

積立投資とは、１万円など決まった金額を毎月決まった日に金融機関の口座から引き落とし、そのお金で投資信託などの買い付けを行うサービスです。

ほとんどの証券会社が提供していて、月々１００円から始められるところもあります。投資利益が非課税扱いになる、つみたてＮＩＳＡやｉＤｅＣｏも、積立投資を使った制度です。

この場合、投資信託の価額が高いときは少ない口数、安いときは多い口数を買い、結果的に平均取得単価が下がるので利益が出やすくなる、「ドルコスト平均法」を使うので、単に投資の手間がなくなるばかりか、高い運用効果も期待できます。

投資の初心者でも安心して始められる、便利な他力投資の仕組みです。

ＡＩトレード

シストレはあらかじめ定められたルールにしか従えませんが、ＡＩトレードはＡＩが過去の相場を学んだり、投資家の教育を受けて中身を最適化するので、よりリアルな展開に沿った取引ができるといわれています。

高度な自分の分身を持つようなもので、ほったらかしトレードの最先端とも評されるほどです。現在は、主にＦＸの分野で活用されています。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　138-139　20/10/29　10:10

他力投資成功のカギ③　インカムゲインに注目する

株式なら配当、債券なら利子、不動産は賃料収入と、資産を保有中に得られる収益を、インカムゲインと呼びます。これに対して、株式や不動産の売却益のことは、キャピタルゲインと言います。

両方とも投資で得られる利益ですが、インカムゲインが魅力的なのは、資産を持ち続けている限り、継続的な収入が期待できるという点。キャピタルゲインは売買しないと発生しませんが、インカムゲインは投資対象が成長をキープしている限り、リターンがもたらされます。

目先の1億円と、毎月継続して100万円もらうのと、どっちがいい？　って話です。

他力投資のご褒美ですから、インカムゲインがより多く得られる投資対象を選ぶのも、長続きのコツです。

他力投資成功のカギ④　投資対象を見極めること

さまざまな情報を参考にできるとはいえ、株式なら銘柄、ＦＸなら通貨ペア、不動産は物件、仮想通貨もコインの種類など、投資の対象を見極めるのは、投資家自身です。

ならば、それぞれの投資対象はどういった仕組みで、リスクの最小化・リターンの最大化はどうするのかといった、基本的な知識は必要です。

投資を洋服に置き換えると、まずは、自分の身の丈にあった服を選び、体がビルドアップしたらどんどん着替えていく、といったイメージです。

例えばＦＸの場合、事業者に預けた資金の最大25倍の通貨が取引できます。専門的には「レバレッジをかける」と言いますが、これにより少ない資金で大きな取引ができる一方で、リスクも大きくなります。

投資とギャンブルは別モノですが、リスクとはつねに背中合わせであることを

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　140-141　20/10/29　10:10

忘れないでください。

これを理解しないでトレードをすると、思わぬやけどを負うかもしれません。仮想通貨だってそう。激しい値動きにより資金が一気に増えることがあれば、逆もまたしかり。

投資対象の特性を見極めることが、他力投資のリスクを抑えてくれます。

他力投資成功のカギ⑤　他力投資の歯車を回す

株式投資なら、買った企業が成長するかどうかでリターンがどうなるのか決まってきます。

ならば、事業の中身、業績の推移、将来性などをチェックしないといけません。企業の決算情報など参考にできるコンテンツはたくさんあり、それらを駆使して買う・買わないの最終的なジャッジを下します。

先述したように、ここは投資家に自力が求められるプロセスであり、正確性も

重視されるがゆえに、高い情報収集力も必要です。「面倒かも…」と思うかもしれませんが、知識を養えば自分自身の成長につながり、「どういった情報を活用するとパフォーマンスにつながるのか」など、他力投資の腕も磨かれていきます。

そうしたことを繰り返して、自分なりに他力投資の歯車が回り始めれば、情報収集～判断～取引のメソッドはブラッシュアップされていくもの。自分にとってもより便利で、負担のないやり方を見つけようとします。

そんな地道な努力も必要なことを忘れないでください。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　142-143　20/10/29　10:10

資産が増える仕組みを整えよう



長い人生を豊かに生きるにはある程度のお金が必要で、労働以外の収入にも目を向けないといけない。その具体的な手段が他力投資でした。

しかし、ヒトは1日24時間しか与えられていないので、8時間寝たら16時間しか活動できません。それをどう効率良く使うか…となると、やはり他力投資しかありません。

私自身も他のビジネスと投資を並行して始めたことで、心にはかなりの余裕が生まれました。

それまでは、いくら儲かっていても、私がケガや病気をすると、ビジネスはおしまいです。いくら勉強して知識を磨き、健康に気を使っても、自力だと私が倒れてしまうと、収益が途絶えてしまいます。

ところが、他力思考を身に付けて、さまざまな投資に取り組み始めたことで、もっと収入源を増やすことができました。

しかも、それは自力ではなく、**私より優秀な他力を使った**ものばかり。

インカムゲインが得られる投資もたくさんしているので、もしものことがあっても安心です。

むしろ、投資のパフォーマンスが安定することで、会社経営も無理をしなくてよくなり、生活全般にゆとりが生まれました。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd 144-145 20/10/29 10:10

みなさんも、こうした暮らしを実現したいと思っているはず。ならば、他力投資にトライしてください。

「投資なんて危ない」と思っていた人ほど、目から鱗が落ちたはずでしょう。

投資をしないで自力で頑張り続けるほうが、ハイリスクな生き方なのです。

では、いち早く他力投資のすばらしさに気づいた人はなにを始めているのでしょうか。

私はセミナーで、ベーシックなものからレアなものまで、いろんなジャンルの投資を紹介していて、先ほど挙げた、仮想通貨の取引やマイニングも、そのなかの1つ。

多くの生徒が取引を始めていて、仕事やビジネスの間に、何十万～何百万円を稼いでいます。

セミナーにはじめて来たときは、将来に不安があり暗い顔をしていたのが、

「坂本さん、これだけ儲かりました！」

「先生のメールを見て取引したら大勝ちです」と喜びの返事がたくさん届き、彼らの明るい表情がいまも思い浮かびます。

私のセミナーにはシニアの参加者も多いと言いましたが、そういった方は体力や気力の問題もあって自力で稼ぐのは難しく、「他力投資を知れてよかった」と、おっしゃっていただいています。

当然のことながら、**投資を始めるのは早ければ早いほど、うまみがあります。**元本についた利子に対してさらに利子がつく、いわゆる「複利効果」です。

私としても、お金のピンチを迎えたからといって指をくわえたまま、もしくは自力にこだわっていたら、どうなっていたのやらと思います。

実際にセミナー会場でも、「もっと早くから学んでおけばよかった」「もっと早

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　146-147　20/10/29　10:10

く実践したかった」と、異口同音に言われます。
現状を見据えて一歩踏み出し、あえて私のセミナーという「他力」に頼ってもらって、本当によかったと思います。

そこで次章では、私も実践している投資術を、ベーシックなものからマニアックなものまで、一挙公開します。

例えば、事業投資と言えば、一般的には経営者や起業家がするものと思いがち。ところが、ウェブのサービスを使えば株式投資とは別の手段で、全国各地で実施される事業投資に出資できるのです。
私自身も出資していますが、これぞまさに他力投資の極み。他の方のビジネスに投資家の形で参加して、幾度となくリターンをゲットしています。

他にも、思わぬトレード手法が良い稼ぎになることもあります。

ここまで読んだみなさんなら、自力ではなく他力が、これからの時代を生き抜くための基本的な考え方と、十分に理解したはず。
具体例を通じて、他力投資を始める気持ちを固めてください。

あなたはまだ、自力で頑張り続けますか？
それとも、その道に精通した他力を活用し、人生を豊かにしますか？

ここまでお付き合いいただけているあなたには、ぜひとも、他力投資の可能性に大いに期待してほしいと思います。

107-149_03章_お金の流儀CS6.indd　148-149
20/10/29　10:10

Column

超富裕層のお金の思考法 パート2

サッカーがうまくなりたかったら、1人ではなく仲間とトレーニングし、優秀なコーチに教えてもらう。これぞ、上達への早道です。

投資だってそう。上手なトレーダーのノウハウを身に付けた方が、手っ取り早く稼げます。ようは、学ぶ＝マネすることです。

リッチを目指すなら、超富裕層の思考法や習慣を日常に取り入れるのが一番です。

その④　時間にシビア

「庭が欲しい」「ゆっくり過ごしたい」といった理由で、郊外にマイホームを買うサラリーマン。決して悪いことじゃないですが、超富裕層はそうしたことをしません。セカンドハウスや別荘を買うことはあっても、基本的には自分のオフィスや勤務先のそばに日常の拠点を構えます。答えは単純で、「時間をムダにしたくないから」です。

私もそうで、普段はビジネスに便利な都心の一等地で暮らしています。

交通手段も電車やバスにこだわるのではなく、移動しながら仕事をしたいならタクシーを選ぶことも。超富裕層が専属のハイヤーを持つのは何も贅沢のためだけではなく、車中で電話をしたり、つかの間のリフレッシュをするなど、うまく時間を使いたいからです。

その⑤　どんどんマネをする

超富裕層をはじめ優秀な人ほど、他の人の良い習慣をマネして、自分のものにしていきます。自分の人生にプラスになることはマネだろうが何だろうが、やったほうが良いとわかっているのです。

よく、「成功者はトライアスロンが好き」とか「瞑想が好き」といった記事を見ますが、何人もハマるのには理由があり、「なら自分もやっちゃえ」という感じなので

150-156_03章_コラム_CS6.indd 150-151 20/10/29 10:10

しょう。

その⑥　便利なモノ・サービスは積極的に使う

超富裕層は自力でやるより、周りの力を借りたほうがビジネスやプライベートが快適になり、うまく回るとわかっています。

私もそれに気づいた1人で、いろんな場面で他力を使っています。

例えば私生活。買い物はなるべくオンライン、スマート家電で面倒な操作を減らす、家事の代行サービスを使うのが当たり前。ストレスフリーな生活を心がけています。

ネットフリックスやアマゾンプライムといった、サブスクリプションのサービスも定番です。定額を支払えば自分はモノを持たずに済みます。コンテンツサーバは、他から調達すれば十分です。

独学は滅多にしません。セミナーに出かけたり、YouTubeなどで勉強しています。クオリティの高い情報が多く、おしゃべりも達者。欲しい知識がタダで入り、プレゼンの参考にもなっています。

人脈作りは、色んな場所に顔を出し必死に名刺を配っても限界があり、広がるにしても似たようなジャンルの人になりがちです。

ところが、顔の広い方に頼ることで、異なる業種・業界の人たち、会いたい方に引き合わせてもらっています。

この辺りは持ちつ持たれつで、私が仲を取り持つこともたくさんです。そうすることで人の輪は急速に広がっていきました。

そのためには、紹介者の顔をつぶさないための礼儀、円滑な人間関係を築くためのコミュニケーションスキルなど、ビジネスに必須のスキルも磨かれていきます。

150-156_03章_コラム_CS6.indd 152-153 20/10/29 10:10

会社の運営では、事務処理、セミナーの集客など、一部の業務を専門の事業者にアウトソーシングするようになりました。

プロフェッショナルに任せたほうが、アウトプットの質が良く、納品までの時間が短縮され、スタッフの業務効率化、残業代の削減にもなっています。

自営業時代は私が業務を一手に引き受け、ひたすらパソコンの入力作業に追われていたこともあります。そうした負担をメンバーに負わせたくないですし、こんなご時世にブラック企業なんて、シャレになりません。

その⑦　なんでも自分で解決しない

「餅は餅屋」と言うように、人には得手不得手があるもの。降りかかる火の粉をすべて自身で振り払おうとする人ほど、ヤケドするだけです。

超富裕層はビジネスや投資で資産を増やす天才ですが、だからといって万能とは限りません。彼らはそれをわかっていて、専門的な運用ならプライベートバンク、法律や会計の知識なら弁護士や税理士など、その道のプロフェッショナルにサポートを求めます。足りない部分を補いながら、チームとして戦うほうが有利とわかっているのです。

私のセミナーには60代、70代の方も、たくさん参加しています。最初はなぜかと思っていましたが、おそらく長い人生のなかで、「プロに頼ったほうが勝ち馬に乗れる」とわかっているからに違いありません。

この考え、私はすばらしいと思っています。

むしろ、これこそ「他力思考」にのっとった稼ぎ方で大正解です。

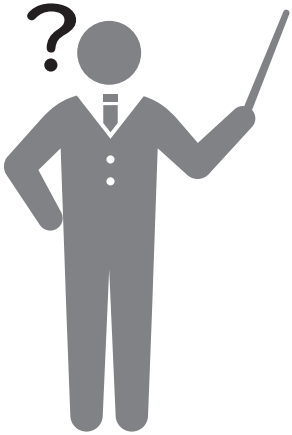
というのも、世の中にある優れた投資は、すべて他力によるもの。みなさんも第3章で学んだはずです。引き続き、第4章ではとっておきのジャンルを紹介するので、ぜひ読み進めてください！

150-156_03章_コラム_CS6.indd 154-155 20/10/29 10:10

150-156_03章_コラム_CS6.indd 156 20/10/29 10:10

第4章

これから来る！他力投資術とは？



もうおわかりかと思いますが、投資こそ他力の真骨頂です。プロに任せるもよし、事業や国の成長に任せるもよし。他力によって、金が金を生みます。

第3章でいくつか取り上げましたが、ここではさらに掘り下げます。お馴染みのものから、「こんな投資があるのか！」とレアなものまで、幅広くピックアップしています。

資金規模に応じてポートフォリオを広げる



他力投資をする際には、いくつか注意点があります。大前提として、投資と投機はまったくの別モノ。ギャンブルになってはいけません。

そこで、資金が少ないうちはできる投資が限られます。

極端な話、10万円の元手があるとして、株式投資やＦＸは問題なく始められます。

ですが、事業への投資や不動産投資をするには、到底足りません。

当たり前のことですが、資金に応じてジャンルを絞り込み、効果的に増やせる投資から始めることです。そうでないと、うまくいきません。現状を見極めながら、エスカレーター式にステップアップしていきましょう。

資金が少ないときに、複数の金融商品に資産を分散すると、それぞれの投資のパフォーマンスは低下します。

「卵は1つのカゴに盛るな」という投資格言があるように、異なるものに投資を

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd 158-159 20/10/29 10:10

するとリスク分散になりますが、元手が少ないうちは特定の金融商品に集中して、資金を効率的に増やし、それからポートフォリオを広げるのです。

私がよく挙げるのは、ＦＸや仮想通貨といった、比較的少額で始められる投資から始めるパターンです。

例えばＦＸならレバレッジが使えるので、１万ドル（10月下旬で約１０４万円分）の取引をするのに必要な資金は5万円もあれば十分（価格の変動により変わります）。

ただし、これだけのお金だと、相場が急に動いて含み損が大きくなると、強制的に取引が終わる「強制ロスカット」になる可能性があるので、もっと多めに入れておいたほうが資金管理の面では安心です。倍の10万円も入れておくと、かなりの相場変動にも耐えられます。

前章でも言いましたが、ＦＸは成長しそうな国の通貨を交換して利ザヤを取る、

パソコンやスマホで完結する投資。

例えばアメリカで新しい大統領が決まり、誰もが納得する経済政策を打ち出したとしたら、世界中の投資家は「アメリカはこれから成長する」と思うはず。ビジネスに投資したい人は、そのためにドルを買いますし、それを察知した機関投資家や大きなファンドを運用するヘッジファンドの運用者もドルを買います。

そして、１０４円だったのが１０５円、１０６円……と価格が上昇すれば、その分が利益になるのです。

こういった取引を繰り返して資金を増やし、ある程度がたまれば株式投資や投資信託も買うなど、**自分自身の資産ポートフォリオを広げていく**のが、投資のセオリーです。

すると、ＦＸは調子が悪くても株式投資がカバーしてくれたり、株の相場があまり動かないときは仮想通貨に集中しようなど、できることの幅も広がります。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　160-161　20/10/29　10:10

多くの投資を知っておいたほうが選択肢の幅は広がり、有利に進められます。

私自身も、相場だったり世の中の流行りだったりを観察しながら、「いまなら事業投資」「このタイミングなら仮想通貨」など、いろんな投資を並行しつつ、その時々で儲かりそうなジャンルに資金を集中させています。

初心者が知っておきたいジャンルとは？



みなさんも基本的な仕組みはご存じでしょうが、第3章で挙げた株式投資について、補足も加えて解説します。

東京証券取引所には3700社を超える企業が上場していて、投資家は証券会社に口座を開けば、これらの銘柄を取引できます。買った銘柄の株価が上がった時点で売れば売却益（キャピタルゲイン）が得られ、配当による利益（インカムゲイン）が受けられる銘柄もあります。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　162-163　20/10/29　10:10

配当とは別に、株主に対するお礼の意味合いで企業の製品やグッズ、割引券を進呈する株主優待を実施する銘柄もたくさんあります。

株価はつねに動くので、買ったときより下がる可能性はありますが、基本的に自分が投じた資金以上の損はしません。

株の取引では、わずかな値動きで売買して利益を狙う短期売買と、中長期の保有で株価上昇を狙ったり、配当で稼ぐ中長期投資がありますが、他力投資のコンセプトにより近いのは中長期のスパンで投資する手法です。

短期売買はあくまでも株価の上下で稼ぐものであり、企業の成長とはあまり関係がなく、同じく短期で稼ぎたいトレーダーたちの駆け引きで勝ち負けが決まります。

これはこれで、他の投資家の力を利用しているので他力投資と言えなくはないですが、実際にやってみると大変です。

私も経験がありますが、ＰＣやスマホから売り買いの注文を頻繁に出すので、結構手間がかかってしまいます。よっぽど「ここで稼げる！」といった確信がないと手を出さないです。正直、面倒なのです（苦笑）。

ただし、一定のルールで勝手にトレードしてくれるシストレもあるので、そういったサービスを使うと、労力はかからず、悪くありません。

中長期の投資は、まさに企業の成長に乗ることを意味します。

企業は時間をかけ、売上を伸ばして、設備投資を実施、事業をさらに拡大するサイクルで、成長していきます。中長期の投資は、この流れをとらえるわけです。

成長に関する情報は、企業が発表する四半期の決算短信や株式情報サイトなどでキャッチできます。配当や株主優待のある銘柄は、持っている間は株主還元もあるので、これも他力投資ならでは。自分は何もしないのに投資の恩恵を受けられます。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　164-165　20/10/29　10:10

成長する銘柄を見極めるのに、私は2つの視点から絞り込んでいきます。

1つは、AIやIoTといった、これから普及していくテクノロジー関連です。将来性があるので株価が急上昇することがあります。

ただし、業績が良くないなどネガティブなニュースが流れると、一気に落ちることも……。リスクはありますが、ダイナミックな成長に乗りたい場合は、最先端の技術などを手掛ける若い企業を狙います。

どちらかというと、マザーズやJASDAQといった、新興市場にたくさん銘柄があります。

もう1つは、トヨタやドコモといった、超安定企業です。発行している株数が多いので株の値動きが落ち着いていて、急上昇はありませんが急落のリスクを抑えられます。

事業が緩やかに成長していれば株価にも反映され、配当などの株主還元も期待できます。こうした銘柄は東証一部、二部によくあります。

ただ、いずれにしても大事なのは、「イケそうな銘柄」を選ぶことです。

普段、自分が働いている業界、詳しい業界でも構いません。よく「たくさんあるなかから選べない」と言いますが、それは何の考えもなく優良銘柄を見つけようとするからです。

まずは、**自分が得意なフィールドから探し始めれば良い**のです。

米国株や中国株など、日本の証券口座から海外の株も取引できます。

日本の景気に左右されにくく、成長しそうな企業に投資できるのは魅力です。

アメリカなら、グーグル（会社名はアルファベット）やアップルの株が買えるのです。あるいはアジアの新興国の株なら、国の成長も後押しして、大きな株価上昇が期待できます。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd 166-167 20/10/29 10:10

株式投資のなかで私が面白いと思っているのは、ＩＰＯ（新規公開株）です。

これは、証券取引所に新たに上場する銘柄のこと。その際、投資家は公募価格という、少々安く見積もった価格で株を買う権利を抽選で手に入れることができます。

その後、上場時についた初値で売るときに、成長の期待があればある銘柄ほど公募価格と初値にギャップが生まれ、その差額で儲けられるのです。

「本当に儲かるの？」と思うでしょうが、２０１９年なら90社がＩＰＯをして、そのうち77銘柄の初値が公募価格を上回りました。勝率は高いのです。

昨年12月に新規上場した「スポーツフィールド」は公募価格２７３０円に対して、初値は８５００円。１単位（１００株）持っていたら初値の時点で売ると、57万７０００円の利益になりました（手数料除く）。

ＩＰＯは基本的に抽選に参加するだけ。外れても損はしません。手軽にできる他力投資と言えます。

個人向け国債はあまりうま味がない……



個人ができる投資として、個人向け国債も有名なジャンルです。

発行元が国なので国家が破綻しない限りは安心、元本割れの心配があまりないのが魅力。１万円から始められ、年率０・０５％の最低金利保証もあります。

変動金利型の10年満期、固定金利型の５年・３年満期があり、利子の受け取りは半年ごと年２回です。

手間をかけずに確実なリターンがある国債は、他力投資の一種であることに間

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　168-169　20/10/29　10:10

違いはないです。

ただしネックなのは、あまりにもリターンが低すぎること。仮に1億円投資しても、年間に受け取れるのは5万円……。銀行の預金よりマシですが、あまりにも投資妙味がありません。

「リスクを負いたくない」「リターンは少なくても構わない」なら話は別ですが、「いまや老後の資金を何とかしたい」「少ない元手で運用したい」という人にはお勧めできません。

私はリスクを取ってもリターンを狙いたいので、個人向け国債にあまり興味はないです。

なお、海外に目を向けると米国の10年物の国債利回りは3％台で、日本よりもかなり好条件。まだ、こっちのほうが良さそうです。

ですが、外国債には為替リスクがあり、仮に購入時より円高になると受け取る利子は下がり、円安になると上がることに。外貨商品特有のリスクがあることを忘れてはいけません。

トルコの10年物国債利回りなんて約13％台で、1億円の投資なら年1300万円のリターン！　かなりおいしいですが、トルコリラ／円相場は激しく上下することで有名な通貨ペアです。数日間で10～20％下落することも珍しくありません。ハイリスクを許容できる人だけに許される投資です。

債券投資には他にも、企業が資金調達のために発行する社債を個人向けに販売する、個人向けの社債もあります。

保有期間は1年～長いと10年、20年とさまざまで、投資額も10万円であったり100万円を超すことも。満期まで保有すると金利がついて戻ってくる仕組みです。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　170-171　20/10/29　10:10

発行元企業の倒産リスクが最大のリスクで、一般的にはベンチャーや中小企業、業績が良くないと危うく、大手企業など業績が安定しているなら、大丈夫という見方ができます。

私としては個人向け国債と同じく、「なるべく損は避けたい」という人に向いた他力投資だと考えています。

投資信託は資産運用の初心者にピッタリ



投資家から集めたお金を資金にして、投資のプロであるファンドマネージャーが運用する投資信託。手間がかからず、**他力投資の代表格**です。

ただし、購入時に手数料、保有し続けることで信託報酬といったランニングコストがかかり、元本保証の金融商品ではありません。

投資信託にはいろんな種類があります。もっともメジャーなのは、日経平均やＴＯＰＩＸ、ダウ平均株価など、特定の指数に連動したパフォーマンスを目指す、

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　172-173　20/10/29　10:10

「インデックスファンド」です。

例えば、日経平均株価に連動する商品を買うということは、この指数を算出するのに使われる225銘柄に分散投資をしているのと同じこと。大きな利益は期待できませんが、リスクを抑えた運用が可能です。

特定の指数に基づいた商品なので運用の手間があまりかからず、信託報酬が安く設定されているのも特徴と言えます。対象とする指数は国内外の株式や債権で、リスク・リターンは「新興国＞先進国＞日本」という順番です。

インデックスファンドには、証券取引所に上場して、個別株と同じように取引できる「ETF（上場投資信託）」もあります。投資信託は1日1回価格が決まる仕組みですが、こちらは取引時間中なら変動しっぱなし。

かつ、リアルタイムで売買できるので、私なんかは、日本経済にプラスになるニュースが流れたときに、イレギュラーの短期売買に使ったりします。

「海外のIT関連銘柄」「コロナワクチンを開発する製薬会社」など、特定テーマをファンドマネージャーが設定し投資するのが「アクティブファンド」です。

その名の通り、積極的な投資でインデックスより大きなリターンを目指すもので、リスクはあってもリターンを狙うという点で、投資の醍醐味を味わえます。

インデックスより手数料が高く、損をする可能性は高いのですが、私は共感するテーマであったり、将来性があるビジネスに投資する、目の付け所が面白いアクティブファンドは、つい気になってしまいます。

通常の投資信託は相場が上がった・下がったと、一方向に動いたときだけ利益が出る仕組みですが、先物取引や信用取引などハイリスクの取引を行い、相場が下がったときも利益を狙う「ヘッジファンド」という金融商品もあります。

ただし、その多くは「私募投資」といって富裕層など限られた人向けです。普通の人は買うことはできません。私もそうですが、周りの資産家は金融機関や運用会社から、こういった話が回ってくるので、有利に資産を作れるわけです。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　174-175　20/10/29　10:10

税制優遇の積立制度で有利な他力投資を！



投資信託をするなら、税制優遇を受けながら積立投資をする、「ＮＩＳＡ（少額投資非課税制度）」「つみたてＮＩＳＡ」や、「ｉＤｅＣｏ（個人型確定拠出年金）」の利用がお勧めです。

つみたてＮＩＳＡの場合、毎年の非課税枠（上限年間40万円）までの投資の利益が、最長20年間非課税に。対象は基本的に投資信託です。

ｉＤｅＣｏは、毎月の掛け金を自分自身で運用して原則60歳以降に受け取る仕組みで、掛け金は毎月５０００円から選べますが、自営業や会社員など、国民年金の被保険者の種類、企業年金の加入状況で、上限は異なります。

対象となる金融商品は投資信託や定期預金など。こちらは投資利益が非課税になるばかりか、毎月の掛け金は所得控除の対象で、受取時も一定額までは非課税になります。

私が、これらの制度をお勧めするのは、積立投資の仕組みを評価しているからです。買う商品と毎月の積立額を決めてしまえば、あとはほったらかし。長い時間をかけて投資対象の成長に乗ることができます。

国のお墨付きで税制の優遇があるので利益が出やすいのも特徴です。スタート時にまとまったお金が必要なく、毎月少額の積立でも良いわけですから、無理なく続けられます。

ただし、時間をかけて利益を狙うものなので、短期的に稼ぎたい人には向いていません。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　176-177　20/10/29　10:10

売買益だけではなく スワップポイントも魅力



為替レートの変動で利益を狙うＦＸは、いまや多くの人が知る投資です。

投資できる通貨ペアは米ドル／円やユーロ／円、豪ドル／円といった円を絡めたもの、ユーロ／米ドルなど外貨同士から選ぶこともできます。ラインナップはＦＸ事業者により異なります。

レバレッジが利かせられるので少額から始められるのは魅力でしょう。

私の知り合いではＦＸから始めて資金を増やし、株式や不動産に拡大し、いまや家賃収入だけで年２０００万円を達成した、資産運用すごろくの勝ち組もいます。

ただし、レバレッジは投資家にメリットをもたらす半面、投資した方向と為替が反対に動くと、一気に損失が拡大するおそれがあります。

リスク管理を徹底しないと大やけどを負うので、そこだけは注意してください。

私もＦＸの経験者ですが、はじめた当初はレバレッジの良い面ばかりを気にするあまりリスク管理まで気が回らず、米ドル／円を50万通貨取引したところ、１円の値下がりで50万円の含み損が出てしまい、危うく資金がショートしかけました。

すぐさま口座に追加資金を入れ事なきを得て、その後は値が戻って最終的には利益を得たので良かったですが、これってＦＸあるあるなので、いまも肝に銘じています。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd 178-179 20/10/29 10:10

ＦＸは平日24時間取引ができて、つねに相場は動いているので短期売買でも儲けられます。

ですが、株と同じで相場に張り付かないといけないので、短期取引はシストレなど自動売買に任せるのが、他力投資的には良いと思います。

中長期投資の場合は、景気が良い、成長しそうな国の通貨を選ぶのがポイントです。そういった国には世界中から投資資金が集まるので通貨が買われます。すると、為替レートも上昇します。

ＦＸは相場の下落でも稼げる、「売り取引（ショート）」もできます。

例えばユーロ／円なら、欧州各国の経済にプラスになるようなニュースが流れたり、経済指標の結果が良いとユーロが買われ（チャートは上昇）、逆に欧州各国にネガティブな情報だと、ユーロは売られます（チャートは下落）。

その際、ユーロが上昇するなら「買い取引（ロング）」、下落なら「売り取引（ショート）」を投資家は選び、流れに乗って利益を狙います。

相場の上下は関係なく、どちらかに動けばチャンスになるのは、ＦＸの特徴です。うまく使いたいものです。

ＦＸは通貨を保有することで、金利の差額である「スワップポイント」を毎日受け取ることもできます。

いまはどの国もコロナの影響などで低金利政策をとっていて、１万通貨を買う場合は１日当たり、米ドル／円で６円、ポンド／円で１円、豪ドル／円で１円ですが（２０２０年10月時点）、金利情勢が変わると受取額は大きくなることも。

何より、通貨を持っているだけで儲かるのは、他力投資的にも悪くない話です。

こういった目線で投資する通貨ペアを決める手もあります。私は、大きな資金を入れて低いレバレッジを運用しつつ、スワップポイントを受け取っています。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　180-181　20/10/29　10:10

ただし、通貨ペアによっては、スワップポイントを支払う場合もあるので、トレードをする際は注意してください。

同じ外貨投資でも手堅く中長期で運用するなら、銀行などが提供する外貨預金で良いと言う人もいるでしょう。

金利の高い通貨を選ぶと高い利息が期待でき、始めてから為替が円安に動くと円に戻すときに、為替差益が出ることもあります。

ところが、外貨預金は手数料の高さがネックです。

私は取引手数料が無料のＦＸで高金利通貨を買い、レバレッジを限りなく抑えて持ち続け、スワップポイントをもらったほうがお得だと思います。

自己資金を使わずにできる他力投資の優秀選手



一棟や区分のマンション、アパートを購入して家賃を得る**不動産投資は、不労所得の王道**です。老後に備えて持っておきたいと考える人は多いはずです。

人気の他力投資で、不動産投資をゴールに他の投資で資産を稼ぎ、頭金の足しにしようと頑張っている私の教え子はたくさんいます。

押さえておきたいのは、都心であればあるほど賃貸需要は高くなり、郊外・地方になるほど人は減るので、賃貸ニーズは低くなることです。ところが、都心は

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　182-183　20/10/29　10:10

地価が高いので物件は高額、地方になるほど安くなっていきます。

一般的には、都心には単身者が多いので、彼らを狙った1000万〜2000万円で買えるワンルームマンション投資、地方や郊外にはファミリー世帯も多いので、単身者・ファミリー世帯向けのアパートやマンション、戸建て投資をすることになります。

物件価格が安い分、利回りはどうしても郊外・地方のほうが高くなりがちです。

仮に、みなさんが土地を持っているなら、有効活用しようとして不動産投資をするのは大賛成です。ただし、住む人がいないのに賃貸物件を建ててもお金の無駄。家賃収入も入らず目も当てられません。

賃貸需要があるかどうか確かめ、期待できない場合は駐車場や貸倉庫、コインランドリーなど、他の活用法を検討すること。それでも難しいなら、いっそ余計なことはしないでおきましょう。

以前、地方出身のセミナー参加者が、「○○建設の勧めで、親から相続した土地で賃貸経営をします！」と息巻いていました。それを聞いて、空室リスクのことを尋ねたら、「サブリース契約を結ぶので大丈夫」と言うではありませんか。

サブリースとは管理会社との間で結ぶ家賃保証のことですが、近年は一方的に金額を引き下げられるなど、社会問題になっています。国土交通省が重い腰を上げ、規制を強化する法律が今年6月に成立したほどです。

どうなることやらと思っていましたが、その彼は昨年またセミナーにやってきて、「家賃の保証額が下がり、このままだと銀行にお金が返せない」とのこと。こういったトラブルは、全国各地で起きています。

彼はいまサラリーマンとして真面目に働きながら、他の他力投資でも資産を増やそうと真剣に取り組んでいます。土地があり建物を建てるだけといって甘く見ると、痛い目に遭うケースもあるのです。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　184-185　20/10/29　10:10

都心のワンルームマンション投資がお勧め



手間をかけずリスクも抑えて家賃収入を得たいなら、都心のワンルームマンション投資が候補に挙がります。

賃貸ニーズが高くて空室になりにくく、価格は手ごろで管理はお任せ。オーナーは毎月の家賃が入っているかチェックするくらいです。

物件の数は多いので比較的流動性が高く、人気があるので売りたいときに買い手が付きやすいのもメリット。立地が良ければ買値よりも売値が高くなり、キャピタルゲインを得られることもあります。

さらに、資産価値があるので銀行から評価されやすく、融資の姿勢やそのときの景気にもよりますが、物件の購入金額を自己資金なしで、すべて金融機関からの融資で調達する「フルローン」で借りられることもあります。

自己資金を使わずに家賃収入が得られ、かつ融資を受ける際は団体信用生命保険に入るので、保険の節約にもつながるといった利点もあります。

サラリーマンでも始めやすく、人気の投資であることに間違いないです。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd 186-187 20/10/29 10:10

国の成長にも期待できる海外不動産投資も魅力！



不動産投資の対象は国内だけではありません。

私は海外不動産投資にも興味を持っています。投資の対象は東南アジアなら高級コンドミニアムだったり、アメリカなら戸建て、留学生の多いイギリスなら学生寮に投資する案件もありました。

国内の金融機関から融資を受けることは難しく（受けられたとしても金利が高くなります）、多額の自己資本が必要ですが、新興国なら物件価格が安い分利回りが高くなり、短い期間で大きな収益を上げやすいのが特徴です。

インドネシアでは１口10万～１００万円の小口投資を募るプロジェクトもありました。

新興国の不動産投資が魅力なのは、国の成長にも乗れることです。

地価が上がる物件の資産価値も上昇するので売却益を得やすくなり、為替が円安になると円に戻す時点でも為替差益が生まれます。

海外案件では家賃収入という形ではなく配当の形式もありますが、外貨の価値が上がれば上がるほど、配当額も実質増えるわけです。

成長しそうな国の不動産はとてもおいしく、私はアジアを中心に物色しています。

先進国であっても、アメリカなら、法人税がないなどの理由から米国トヨタ本社など国内外大手企業の移転が目立ち、それに伴う労働人口の増加が著しいテキ

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　188-189　20/10/29　10:10

サス州は、戸建て投資のメッカです。

しかも、アメリカの不動産は１００年以上持つので、築古だからといって安くならず、人気の高いエリアなら、高く売却できることも珍しくありません。

近年は日本人に物件を斡旋する日系企業が増えています。

減価償却による節税効果も期待できるので、富裕層にとっても魅力のある資産運用として人気です。

不動産投資にはユニークな商品がたくさん



不動産投資のジャンルは幅広く、投資家から集めた資金でオフィスビルや商業施設、マンションなどの大規模物件を買い、そこから得られる家賃収入などを投資家に分配するＲＥＩＴ（不動産投資信託）も定番です。

もともとはアメリカで始まったものですが、いまは日本でも一般化して、「Ｊ－ＲＥＩＴ」と呼ばれる商品が証券取引所に上場し、株式と同じように取引ができます。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　190-191　20/10/29　10:10

Ｊ－ＲＥＩＴは収益がそのまま分配金として投資家に還元されるので、他力投資としてもおいしく、人気のＪ－ＲＥＩＴは多くの投資家が買い求めているため価格が上がりやすく、売却益が得られることもあります。

対象が不動産なので天災の影響を受けやすく、今年はコロナのおかげで、かなり価格を落とした銘柄もありました。とはいえ、もともと優良な銘柄だと、安くなったときこそ買うチャンス。私は良い思いをさせてもらいました（笑）。

共同出資型不動産も最近は注目を集めていて、私も興味を持っています。これは、商業施設など一棟の不動産を複数の投資家が共有するという、不動産投資のスタイルです。共有持ち分を任意組合に出資して、任意組合は物件を運営・管理のうえ、賃料収入などを口数に応じて投資家に分配します。

本来、東京の一等地にそれなりの規模の商業施設を持つなんて、よほどの資産家・富裕層しかできず、管理を含めリスクもあるので、手が出しづらいのが実情といったところ。

ところが、中堅～大手のデベロッパーが中心となり出資者を募り、任意組合のスキームを組成してくれると参加しやすく、これは非常に合理的な投資です。

共有持ち分の購入とはいえ、不動産を所有することに変わりはなく、管理は組合に任せられます。複数の口数を持っていれば分割して売却したり、相続のときも便利です。

一方で、物件価格の値下がり、空室による利回り低下といったリスクがあり、立地や建物の用途は気にしないといけません。

また、出資持分に抵当はつかず担保にならないので、基本的には自己資本での購入が前提です。１口当たりの購入価格、最低購入単位はプロジェクト単位で異なり、数百万円で良いものもあれば、１０００万円くらいかかる案件もあり、さまざまです。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　192-193　20/10/29　10:10

「有事の金（きん）」は他力投資に向いている？



紙幣と違い、それ自体に価値がある金。

インフレになろうがデフレになろうが一定の価値があり、それゆえ「有事の金」とも呼ばれ、世界情勢が不安になると買われる傾向にあります。

私自身や周りの富裕層たちは、アクセサリーとして持ったり、純金積み立て、金貨、金地金（金の延べ棒など）、金関連のファンド、先物といった形で投資しています。

ただし、金に投資する最大の目的は成長ではなく、もしもの際のリスクヘッジの意味合いがあります。

金に対するニーズが高くなると金価格は上がり売却益は期待できますが、金自体は利子も配当も生みません。コロナ禍では価格を上げましたが、それも成長というよりは世界経済の先行きに不安が生じたからです。

自分の力ではなく他力を使うという意味では間違っていませんが、成長で儲ける投資ではありません。あくまでも、「何か困ったことがあったときの保険」という感覚です。そういったスタンスで臨むと良いでしょう。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd 194-195 20/10/29 10:10

売却益だけじゃない。仮想通貨の魅力とは？



私も熱心に取り組み、セミナーや講演でもアピールしてきたのが、仮想通貨関連の投資です。みなさんも興味のあるジャンルでしょう。

ビットコインや数多くのアルトコインは、ネット上や実店舗で通貨として使えたり、仮想通貨取引所で法定通貨と交換して、価格変動で稼ぐこともできます。

世界中では３０００種類超が流通していて、それぞれの国や仮想通貨取引所で購入できる種類は異なります。

日本では先ほどのビットコインをはじめ、イーサリアム、リップル、ビットコインキャッシュ、ライトコイン、モナコインなどが買えます。

仮想通貨の価格は、「知名度がアップする」「将来の需要が大きくなると予想」「仮想通貨取引所への上場」「供給量の減少」など、さまざまな理由で上昇します。

もともと法定通貨に比べて取引量が少なく、１日当たりの値動きに上限もなし、プロの投資家もあまりいないので、ときには大きく上下するのが特徴です。

仮想通貨トレーダーはこうした情報を理由にそれぞれの仮想通貨を売買しますが、長期保有をするなら将来性に期待するのが一般的です。

他のトレーダーの動向、仮想通貨のインフルエンサーの情報、有力なマイニング会社のマイニングしている仮想通貨をチェックするなど、相場を動かす情報も参考になります。この辺りは、ＦＸトレードに似ていると思います。

また、仮想通貨の世界では、ビットコインからビットコインキャッシュ、ビッ

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　196-197　20/10/29　10:10

トコインゴールド、イーサリアムからイーサリアムクラシックというように、ある仮想通貨から分岐して新しい仮想通貨が生まれる、「ハードフォーク」という現象が起きます。

ハードフォークが起きると、ビットコイン分岐なら分岐したコインがもらえ、それを多くの人がビットコインに換えて価格が上がるという動きもあります。

ちなみに、２０１７年の11月末から12月にかけては、「韓国の取引所に上場する」「ロードマップの更新」「ビットコインに比べて価格が安く買いやすい」といった理由から、エイダコインが中長期的に上昇するとメルマガ会員に配信したところ、1カ月前は3円くらいだった価格が一気に4倍近くまで上昇しました。

元手50万円で買った私の教え子は、その後に８００万円、４０００万円と資産を増やし、証拠の写メも送ってきました。トレーダーが気になる情報がひとたび流れると、爆発的に価格を伸ばすのは、仮想通貨の特徴です。

「マイニング」で稼ぐのもあり！



仮想通貨で稼ぐ手段は売買だけではありません。

「マイニング」も根強い人気を誇っています。

仮想通貨は世界各国で取引され、法定通貨のように発行や管理を担う中央銀行や法人・個人の資金を管理する銀行は、そこに関わっていません。

その代わり、仮想通貨の発行・管理には「ブロックチェーン技術」が使われていて、この世界では仮想通貨の取引データを「トランザクション」と呼び、トラ

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　198-199　20/10/29　10:10

ンザクションはまとめてひとつのブロックを作ります。

このブロックには、いつ、誰が、どこで仮想通貨を取引したかといった情報が記録され、この記録の内容は正しいかどうか承認される必要があります。その、承認作業や価値移転記録の信頼性を確保する仕組みが「マイニング」であり、これを行う人を「マイナー」と呼んでいます。

ただし、マイニングは善意で行われるわけではありません。取引記録を承認する作業にメリットが必要で、それが新規に発行された仮想通貨の付与なのです。例えばビットコインなら、取引の承認作業に成功すると新規のビットコインが発行され、マイナーに対して報酬として付与されるのです。

つまり、マイニングには、取引の承認作業＆新規の仮想通貨の獲得の２つの側面があり、マイナーは報酬目的で取り組んでいます。

実際にどれくらい貰えるのか。ビットコインのマイニングなら、１ブロックの承認作業に対して６・２５ビットコインが支払われています。仮に1ビットコインが１００万円なら、６２５万円ということ。

さらに、報酬を受け取れるチャンスは10分ごと。これだけの機会があれば、マイニングに参加したいと思う人は、世界中にいておかしくありません。

マイニングには大量のコンピュータが必要ですが、ビジネスを立ち上げて取り組む企業は後を絶たず、ファンドなどから資金を集め最新鋭の機械でマイニングをする競争が巻き起こっています。

マイニングを始める手段は、大きく３つあります。

クラウドマイニング

大規模な機械を使いマイニングをする企業にお金を出し、マイニングをしてもらいます。利益は配当として受け取ります。作業をする必要はなく、専門知識も

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　200-201　20/10/29　10:10

不要。投資信託に近いイメージです。

プールマイニング

個人のパソコンを集約し、組織的にマイニングすることです。ソフトをインストールすれば始められ、高額な初期投資は必要ありません。マイニングに対する貢献度で報酬は決まります。手軽に始められる反面、報酬はあまり期待できません。

ソロマイニング

単独で行うマイニングのこと。報酬は独占できますが、高額な機械を揃えたり、コンピュータの知識が求められます。売買と違って、マイニングは取引に追われることなく、始めれば利益が期待できます。魅力的な他力投資です、

複数の取引所を使ったアービトラージで稼ぐ



複数の取引所を使い、取引所間の価格差を利用して利ザヤを得る「アービトラージ（裁定取引）」は、仮想通貨の初心者でも稼ぎやすい手法です。難しいトレードの知識は必要なく、次のようにやります。

①取引所Aで仮想通貨を買う
②取引所Bへ仮想通貨を送る
③取引所Bで仮想通貨を売る

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　202-203　20/10/29　10:10

取引所Ａで安く買い、取引所Ｂで高く売れば、その差額から手数料を差し引いた額が利益になります。

例えば、取引所Ａのビットコイン価格が１００万円、取引所Ｂが１０１万円だとすれば、差額は１万円。別途、取引所Ａの売買手数料や送金手数料がかかるので、おそらく最終的な利益は８０００円くらいでしょう。

送金中に価格が上がると利益は増え、下がると損失を被る可能性はありますが、相場分析は必要としません。少し手間はかかりますが、取引所間の価格差といった他力をうまく利用した手段です。コロナのときは、これで稼いだ生徒がたくさんいました。

ダイナミックな成長に乗るなら事業投資で決まり！



いろいろと他力投資のジャンルを挙げてきましたが、いま私がもっともプッシュするのは、**事業投資**です。

私個人としては事業家の仲間が多く案件が回ってきやすく、それこそＡＩやＩｏＴ関連の事業には多額の資金を出資しています。

ただし、一般の方がいきなり始めるのは、簡単じゃありません。コネで回ってくる話が多く、株式や投資信託を通じて企業に投資するなど、間接的にやるほう

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　204-205　20/10/29　10:10

が現実的です。

とはいえ、スモールビジネスならできると思います。

例えば、私はサラリーマンを経てコンサルのビジネスを始めましたが、これもある意味では事業投資のようなもの。あとは自分でコツコツ事業を拡大して収益を伸ばし、脱サラするまでにいたりました。

みなさんも会社を辞めずとも、副業の形でビジネスを始める手はあります。

本業が忙しくて副業をする時間がないなら、事業を始めたい人のスモールビジネスに出資できるかもしれません。会社を設立してビジネスを始めたい友人や知人を社長に据え、あなたは出資したうえで役員に名を連ねます。

あとは、役員報酬や給与としてリターンを得るのです。ビジネスが軌道に乗れば、大化けするかもしれません。

クラウドファンディングで世界中のビジネスに投資



インターネットで不特定多数の人から資金を募るクラウドファンディングも、案件によっては事業投資のようなもの。２０００年代にアメリカで普及し始め、日本にもおよそ10年前に上陸。いまは、さまざまなプラットフォームが展開しています。

その形式は、「寄付型」「購入型」「融資型」「株式型」「ファンド型」「ふるさと納税型」に分かれ、違いは次の通りです。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　206-207　20/10/29　10:10

●寄付型：プロジェクトに対して支援者が寄付。商品やサービスなどリターンはなし
●購入型：プロジェクトに対して支援者がお金を出し、モノやサービスが得られる
●融資型：事業者が仲介して個人投資家から資金を集め、大口化して借り手企業に融資。分配や特典などを得る。ソーシャルレンディングとも呼ばれ、金融商品の1つ
●株式型：企業が実施する資金調達の一種。個人投資家から資金を募る代わりに未公開株を提供する。
●ファンド型：企業が実施する資金調達の一種。特定の事業に対して個人投資家から出資を募り、投資家は金銭的なリターンを受け取る
●ふるさと納税型：自治体がふるさと納税により寄付を募り、寄付控除や返礼品の特典を受けられる

このなかで事業投資になるのは、融資型、株式型、ファンド型の3つです。メガソーラーや、開業資金などを貸す事業支援ローンなど、いろんな案件があり、そこから選びます。

貸し倒れのリスクがあるので、プラットフォームの信頼性や事業者の素性、過去の実績を参考に選ぶのが一般的です。

利回りは2％程度～10％と幅広く、1万円から投資ができ、利益は毎月分配のプロジェクトもあります。

ＳＢＩ系の「ＳＢＩソーシャルレンディング」「クラウドバンク」「クラウドクレジット」などいくつかのサービスがあり、会員登録をすれば始められます。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　208-209　20/10/29　10:10

出資額を超える責任は問われない「ＬＬＰ」



私がもっとも注目しているのは、ＬＬＰ（有限責任事業組合）のスキームで行う事業投資です。これは、事業投資をするための組合および契約のことで、無限責任組合員と有限責任組合員により構成されます。

有限責任組合員なら出資額を超える責任は問われることはなく、リスクを限定して事業投資に参加できるのが特徴です。

ベンチャーキャピタルへの投資やバイアウトファンドといった、未公開株式へ

投資するプライベートエクイティファンドでは、ＬＬＰを組成することが多く、これを通じて企業への投資を行い、投資家は投資に応じたリターンを得る仕組みです。

事業に出資をすれば、あとは出資先の成長によりリターンがもたらされるので、これもビジネスを活用した他力投資と言えます。

これまで、組合を使った事業投資は、あまり表に出てくることはなく、知る人ぞ知るジャンルでした。最低出資額が大きく、富裕層など限られた人しかできない案件も多く、決してメジャーではありません。

ところが、事業投資は当たれば大きい半面、当てが外れると出資額がパーになります。

場合によっては出資額以上の損失を被ることがあり、とてもハイリスクなのも特徴です。

しかし、ＬＬＰの形にして有限責任組合の組合員になれば、リスクは出資額の

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　210-211　20/10/29　10:10

範囲内。これにより、リスクの高い案件に関わりやすくなったのです。

私がＡＩやＩｏＴ関連のベンチャー企業に投資できるのは、こういったスキームもあるからです。

もちろん、投資先の安全性や将来性、組合の参加者の素性など、チェックすべき点はいくつかあり、案件を見極める目は求められます。とはいえ、そのリターンは計り知れません。

出資額はプロジェクトによりさまざまです。ただし、ネットなどで出資者を募集することはなく、基本的には金融機関やベンチャーキャピタル、経営者や起業家から話は回ってきます。一般層ではなく富裕層向けの投資です。

誰でも始められるわけではありませんが、１日でも早くみなさんもトライできるようになってほしいと思います。

実績がなかった人ほど他力投資で稼げるようになる！



「収入は労働の対価」「投資なんて危ない」「ギャンブルと変わらない」など、世間一般の投資に対するイメージは、決して良くありません。事業投資なんて、「詐欺じゃないのか?」と疑われそうです。

ですが、**これからは労働だけで食っていくのが大変な時代。**私たちはマインドセットを切り替え、他力投資で収入を補填する必要があります。

もちろん、身の丈に合っているか、投機やギャンブルになってはいないか、い

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　212-213　20/10/29　10:10

つも冷静な判断は必要です。

なかには、「これまで投資で勝ったことなんてない」という人もいるでしょう。ですが、それは自力にこだわったり、投資対象をちゃんと理解していない、リスク管理をしていないなど、落ち度があったからです。

押さえるべきことをしっかりとやれば投資は怖いものでなく、みなさんの人生をしっかりと支えてくれます。

これまで何をやってもうまくいかない、自分の力には限界があり資産が伸びなかった人こそ、他力投資を始めてみるべき。私はそう断言します。

他力を活用することで、労力を費やすことなく、あなたにハッピーが訪れるのです。

成長する投資対象に乗っかれば、投資のパフォーマンスは向こうからやってきます。

儲けたい、理想の生活を送りたい、人生100年時代に備えたい……お金の悩みは尽きませんが、成長曲線に乗って恩恵を受ける、他力投資でそれらを解消しましょう！

私はメルマガでの情報発信を中心に、セミナー活動を通じて全国を駆け回っています。時流に合わせて、頻繁にウェビナーも開催しています。

近いうちに、あなたとお目にかかれる機会があるかもしれません。そのときは、ぜひ、他力投資について語り合いましょう。

その日を、楽しみにお待ちしています。

希望あふれる明日を迎えましょう！

最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。

157-215_04章_お金の流儀CS6.indd　214-215　20/10/29　10:10

おわりに

この本を書いている間に、日本では安倍総理が退陣し、菅内閣が発足しました。本書が世に出るころには、アメリカでトランプ大統領が再選されているのか、それともバイデンさんに取って代わられているのか。全世界が注目しています。

世界を取り巻く環境は刻一刻と変わっていますが、変化は大きなチャンス。それは、新たな成長のきっかけになります。

カメレオンのごとく変化できる者こそ、強く生き抜けるのです。

例えば、菅首相は自身の内閣を、「国民のために働く内閣を目指す」とし、基本的には安倍内閣の取り組みを受け継ぐみたいですが、コロナの感染対策と社会活動の両立、デジタル庁の創設、地方創生、不妊治療の保険適用などの方針が大

きな話題になりました。アメリカも新大統領が決まれば、新たな方策が明らかになるでしょう。それによって、他の国の動きもいろいろ変わるはずです。

そうすると、何が起きるのか。

コロナ対策を急ぐならワクチンを開発する企業は投資家から注目され、それに成功した企業は大儲けするでしょう。

行政のデジタル化やペーパーレス化により、電子認証や電子交付の仕組みが、官民ともに進むに違いありません。関連ビジネスを手掛ける企業には追い風です。

このように、社会に変化が訪れると、どこかで何かが大きく成長します。

私たちは、その流れに乗れば良いのです。

これからは、何もしないだけで貧しくなっていく世界に

一方で気になったのは、菅内閣が目指す「自助・共助・公助、そして絆」とい

216-225_おわりに_お金の流儀CS6.indd 216-217 20/10/29 10:10

う社会像です。

自助とは「自分で自分を守ること」、共助は「周りの人たちと助け合うこと」、公助は「公的支援」のことです。

この言葉って一見すると美しく響きますが、その裏には、「国や自治体をあてにしないで、自分自身やみなさんで、おのおのの生活を守ってください」というメッセージにも聞こえませんか。

私はこれまで以上に、「みずから動かないと生活はままならなくなる」と、危機感を強めました。

私が、この本でみなさんに伝えたかったことは、以下の5点です。

●日本に本格的な危機がやってくる
●働くだけの収入では不十分

●将来への備えはいまから始める
●そのための手段が他力投資
●安心、安全、豊かな人生を手に入れてほしい

みなさんも薄々わかっていると思いますが、ただ働いているだけで、私たちの暮らしが劇的に良くなることはありません。むしろ、いまと同じように会社で働くだけで何もしていないと、貧しくなっていくだけです。

さらに考えてほしいのは、いまもそうですが、これからはますます貧富の格差が広がっていくことです。豊かな人はより豊かに、そうでない人は、もっと生活が厳しくなっていくでしょう。

これを挽回（ばんかい）するにはどうすれば良いか？

そのカギを握るのが、富裕層のほとんどがやっている、他力投資です。

216-225_おわりに_お金の流儀CS6.indd 218-219 20/10/29 10:10

彼らの多くは、他力投資を繰り返して資産を増やしてきました。というか、他力投資こそが、資産増にもっとも効果的な手段なのです。富裕層はそれをわかっています。

なら、それをマネすれば良いだけです。

いまは、株式投資や不動産投資、仮想通貨、事業投資など、富裕層もやっていることを、誰もができるようになっています。

少ない資金しかなくても、他力投資はまじめにコツコツ取り組めば、いつか花開きます。

自分のなかで手間なく続けられる他力投資の仕組みを作り、長く楽しんでほしいです。

私自身は脱サラをきっかけに他力の良さを知り、投資に応用するまでになりました。

会社経営では周りのスタッフ・メンバーの力に頼ることで、自分自身がラクになり、チーム体制にすることで、1人きりのときよりもビジネスは飛躍しました。

世の中で富裕層の多くは投資で稼いでいることに注目し、よくよく考えてみると、それはすべて他力によるものとも気づきました。なら、どういった投資に、どのようなスタンスで取り組めば良いかもわかり、こちらもうまくいっています。

他力は、私の人生を大きく変えてくれました。同じような体験を、ぜひみなさんにも味わってほしいです。

本書が、その役にたてば幸いです。

また、公式サイトやメルマガ、セミナーでも、どんどん私のテクニックやとっておきの投資情報を公開しているので、こちらもご活用ください。

216-225_おわりに_お金の流儀CS6.indd 220-221 20/10/29 10:10

近い将来、あなたはこう思うはずです。

「こんなことになるなんて、想像もしていなかった」

それは良い意味ですか？
それとも、悪い意味でしょうか？

すべては、いまのあなたの考え方と行動次第です。

みなさんの人生が、より豊かになるよう、私は心から願っています。

2020年10月　坂本よしたか

著者
坂本よしたか

株式会社ライトニングプロデュース代表取締役、株式会社ライトニングプレミアム代表取締役。
1973年8月10日生まれ。ビジネスコミュニティ運営、コンサルタント事業、投資事業、セミナー事業、物販事業など、多岐にわたる事業を展開。年商は30億円を超える。起業歴15年。
経営者、投資家としての顔以外に「セミナー講師」「プロデューサー」「作家」など複数の顔を持つ。これまでのビジネス経験をつづった6冊の書籍は累計発行部数15万部を超えるベストセラー作品になっている。
著書としては、『Amazonで億万長者』（アイバス出版）、『錬金術で億万長者』（アイバス出版）などがある。運営しているビジネスコミュニティでは、これからの時代を会社や国に依存せずに生き抜くために必要な「個人が稼ぐ力」を身に付ける術を教え、多くの成功者を世に輩出している。

・坂本よしたか オフィシャルサイト　http://attoutekisakamoto.com/

・坂本よしたか Facebook　http://yslpn.link/ys_facebookp/all/

オフィシャルサイト　Facebook

216-225_おわりに_お金の流儀CS6.indd 222-223　20/10/29 10:10

先着100名限定

＼ 豪華５大特典！ ／

本書ご購入者 プレゼント

※プレゼントは、上限に達し次第終了致します。

書籍内では書き切れなかった情報を豪華5大特典としてご用意しました！

特典 1

月収30万円から最速で月収100万円に到達するための収入UPプログラム

最速で月収100万円を稼ぐまでの具体的なステップを分かりやすく解説。
まずは富裕層への第一歩を踏み出しましょう！

特典 2

借金、浪費癖、収入など、お金の悩みを根本的に解消するための7つのルール

月末になると「アレお金が足りない…」。そんな、お金の悩みや不安に襲われていませんか?
7つのルールを実践して、今日からお金の悩みから解放されましょう！

特典 3

他力を使って人生を豊かにする『他力の流儀』

他力を最大限に活用し、経済的自立をする方法をPDFにまとめました。
他力を活用し労力を極力かけずに人生を豊かにしましょう！

特典 4

今おすすめの他力投資術を一挙公開

厳選に厳選を重ねた、最先端のおすすめの他力投資術を公開します。
投資こそ他力の真骨頂。お金でお金を生み出す体験をしてください！

さらに特典 5

『お金の流儀』出版記念セミナー(参加費3万円)に無料ご招待！

通常参加費を頂戴している、セミナーに無料ご招待いたします。
本書で書き切れなかった『お金の流儀』についてたっぷりとお話しします！

プレゼントの受け取りは
こちらからアクセスしてください。
https://sakamoto999.com/money.style/

参考

●東京新聞 TOKYO Web
https://www.tokyo-np.co.jp/article/45937

●厚生労働省 毎月勤労統計調査 令和元年分結果速報
https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/monthly/r01/01cp/01cp.html

●内閣府 2020 年 4 ～ 6 月期の国内総生産（GDP）速報値
https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data_list/sokuhou/files/2020/qe202/gdemenuja.html

● NHK NEWS WEB
https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200527/k10012446721000.html

● au カブコム証券
https://kabu.com/kabuyomu/society/16.html

●公益財団法人 生命保険文化センター
https://www.jili.or.jp/lifeplan/lifesecurity/oldage/2.html

●フジテレビ
https://www.fujitv.co.jp/sazaesan/character.html

●国土交通省「国土交通白書 2013」若者を取り巻く社会経済状況の変化
https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h24/hakusho/h25/html/n1110000.html

●平均年収 .jp
https://heikinnenshu.jp/country/japan.html

●マネービバ（株式会社三井住友銀行）
https://money-viva.jp/nenkin/0001/

●日本経済新聞
https://www.nikkei.com/article/DGXMZO65257810R21C20A0000000/

●帝国データバンク
https://www.tdb.co.jp/tosan/covid19/index.html

● M&A 創業研究所（ソフトバンクの大型 M&A の歴史！戦略と狙いを成功 / 失敗事例で振り返る）
https://masouken.com/

● MONEY PLUS（株式会社マネーフォワード）
https://media.moneyforward.com/articles/5173?page=3

●ザイ・オンライン（ダイヤモンド社）
https://diamond.jp/articles/-/207336

●やさしい IPO 株のはじめ方（ライフパートナーズ株式会社）
https://www.ipokiso.com/company/2019.html

知らなきゃ損する
お金の流儀

2020 年 11 月 27 日　第 1 刷発行

著　者　坂本よしたか

発行者　杉浦由和

発　行　信長出版
〒 160-0023
東京都新宿区西新宿 7-2-5 TH 西新宿ビル 6 階
info@office-nobunaga.com

発　売　サンクチュアリ出版
〒 113-0023
東京都文京区向丘 2-14-9
TEL 03-5834-2507

装　丁　小口翔平＋喜來詩織（tobufune）

印刷・製本　株式会社光邦

本書の内容の一部、または全部を無断で複写・複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。落丁・乱丁本は小社までお送りください。小社送料負担でお取り替えいたします。
定価はカバーに記載されています。

©2020 Yoshitaka Sakamoto
ISBN 978-4-86113-762-4　Printed in Japan

226_奥付.indd　226　20/10/29　10:09